

BeoVision Avant

BeoVision Avant-55

BeoVision Avant-75

BeoVision Avant-85

お客様へ

このガイドには、お買い求めいただいたBang & Olufsen製品および接続された機器の基本的な使い方についての追加情報や、製品の特長や機能についての詳しい説明が記載されています。これらの追加情報には、この製品のセットアップ方法、Bang & Olufsenリモコンを使った操作方法、および有線・無線接続の設定方法が含まれます。製品の配達、設置、セットアップは、販売店が担当いたします。

このガイドは、ソフトウェアのアップデートによって追加される新機能や特徴をすぐに反映できるよう、定期的に更新されます。テレビに新機能や特徴が追加されると、セットアップにあるヒントメニューで詳細を読むことができます。

この製品についての詳しい情報は、次のサイトにあるFAQ(よくある質問)でもご覧いただけます。www.bang-olufsen.com/faq。

修理等に関するお問い合わせは、まずBang & Olufsen販売店へご連絡ください。

お近くの販売店は当社ウェブサイトでご確認いただけます。

www.bang-olufsen.com

目次 — 見出しをクリックすると該当するセクションにジャンプします。

リモコンの使い方 5

リモコンの使用方法を説明します。BeoRemote App を使用してテレビを操作することもできます。

本ガイドの説明 7

メニュー操作を図説し、メニューのナビゲート方法を説明します。また、Bang & Olufsen のテレビを最適にお楽しみいただくために、インジケータライトについて説明します。

テレビのセットアップ 10

テレビの適切な設置方法と取扱い方について説明します。

メンテナンス 12

製品のクリーニング等、メンテナンスについて説明します。

接続 13

テレビを接続したら、セットトップボックス、パソコン、カメラといった機器を接続してセットアップを拡充し、ソースの選択肢を広げましょう。必要に応じて、初期設定へのリセットも可能です。

テレビ回転位置の設定 20

複数の視聴位置で最高の視聴体験ができるよう、モーター内蔵フロアスタンドやウォールブラケットの回転位置を設定します。反射を防ぐよう、モーター内蔵テーブルスタンドの角度の調節もできます。

接続した機器のセットアップ 21

ソースリストメニューから接続した機器を登録し、PUC タブレットをダウンロードして、他メーカーの機器を Bang & Olufsen のリモコンで操作できるようにします。PUC タブレットを使用しない場合は削除することもできます。

テレビを見る 23

テレビを見たり、関連する機能にアクセスしたり、テレビを複数の視聴位置に回転させたり、お好みに応じて視聴体験をカスタマイズできます。

スピーカーの設定 - サラウンドサウンド 25

テレビをサラウンドシステムに組み込んで、素晴らしいサウンド体験を楽しみましょう。セットアップ内のスピーカーをワイヤレスで接続したい場合は、スピーカーとテレビを関連付けると、サウンドだけでなく、ワイヤレス環境の美しさもお楽しみいただけます。それぞれのリスニングポジションでのサウンド体験を最適化するために、複数のスピーカーグループの作成をお勧めします。プログラムやソースの種類に合わせて音声モードのセットアップもできます。

音声モードとスピーカーグループの基本的な使い方 29

ゲームモードなどに音声モードを切り替え、プログラムやソースの種類に合わせてサラウンドサウンドシステムのサウンドを最適化しましょう。スピーカーグループを切り替え、NetRadio を聞くためのオープンキッチンでの位置、アームチェアに座ってテレビを見るための位置といったそれぞれのリスニングポジションでのサウンド体験を最適化しましょう。各スピーカーグループは特定のリスニングポジションに合わせてカスタマイズされます。

音声と画像設定の調整 30

低音レベルや明るさの調節など、好みに合わせてサウンドや画像の設定を行いましょ。また、プログラムやソースの種類に合った画像モードやフォーマットを使用しましょ。

テレビ体験のカスタマイズ 33

次回も同じコンビネーションを簡単に呼び出したい場合は、使用中のソース、サウンド、映像体験のスナップショットを保存しましょ。内部ソースに関しても、操作アイテムを保存できます。

3D テレビの設置 34

見たい時に3Dテレビを楽しめるよう、3Dテレビを有効にする方法を設定しましょ。

3D テレビを見る 35

3Dテレビを有効にして、吸い込まれるような視聴体験を味わいましょ。放送局のシグナルに合ったモードを選択してください。

同時に2つの映像を見る 37

映画のコマーシャル中に別の番組を見るなど、2つの映像を同時に見られます。映画が再び始まったことも確認できます。

外部機器の操作 38

セットトップボックス、DVD プレーヤーといった外部機器を Bang & Olufsen のリモコンで操作できます。つまり、セットアップ内のすべてのソースをたった一つのリモコンで操作できるようになります。

つづく…

NetRadio 39

NetRadio 局やテレビ局を参照、検索、再生し、世界各国のラジオ局の音楽をお楽しみいただけます。

WebMedia 41

ウェブページの操作とウェブメディアを使ったアプリの追加。WebMedia を使うとテレビでインターネット機能を利用でき、例えばリビングでご家族とウェブ上のコンテンツを簡単に共有できます。

Spotify, Deezer, YouTube 43

アプリから Spotify, Deezer, YouTube にアクセスして、好みに合わせて音楽やテレビの世界を楽しみましょう。

ホームメディア 44

テレビで写真を見たり、音楽やビデオファイルを再生できます。快適なリビングルームで友人と共にストレージデバイスに保存したコンテンツを楽しみましょう。パソコンやスマートフォンからコンテンツをストリーミングすることもできます。

タイマーの編集 47

セットアップ内のソースから音楽を聴きながら眠りにつきたいときや、番組終了後にテレビの電源を切りたいときなどに、テレビのスイッチが自動的に切れるように設定できます。

電力の設定 48

消費電力や自動スタンバイの設定をしたり、起動時間を短縮したりできます。

ピンコード機能 49

ピンコード機能を利用して、ピンコードを知らない人はテレビを使用できないようにします。盗難にあい、特定の期間電源に接続されなかった場合などに機能します。

ソフトウェアとサービスのアップデート 50

ソフトウェアをアップデートし、モジュールについての情報を確認し、お使いのテレビや Bang & Olufsen システム全体が常に最新機能を搭載した状態であるようにします。

ネットワーク設定 51

ネットワークを設定し、ネットワーク情報を取得します。ネットワーク接続により、NetRadio や WebMedia といった様々なソースにアクセスでき、ソフトウェアアップデートやその他の機能も利用できます。

Network Link による音声の配信 54

リンク接続でテレビを他の製品と統合し、家の中の別の部屋に音声を配信できるようにすると、Bang & Olufsen のシステムの可能性が広がります。

オーディオシステムの接続と操作 56

オーディオシステムをテレビに接続し、統合されたオーディオ/ビデオシステムを操作することで、テレビでオーディオシステムからの音楽を再生したり、テレビの音声をオーディオシステムに送信したりできます。

2台のテレビ – Network Link 接続 58

テレビをもう1台接続し、統合されたビデオシステムとして操作することで、別の部屋に設置したテレビでオーディオや映像を楽しむなど、2台のテレビの音声を共有できます。

1つのリモコンで2台のテレビを操作する 60

Bang & Olufsen のリモコン 1 つで、2台のテレビを切り替えたり、両方のテレビを操作できます。

HDMIマトリックス 61

HDMIマトリックスを接続していると、HDMIマトリックスメニューの設定で、複数のテレビに多数の外部ソースを接続できます。さらに、これらのソースを各テレビで別々に操作したり、いくつかの部屋で同時に操作することもできます。

リモコンの使い方

テレビをBeoRemote Oneで操作できます。



*1ディスプレイの一部のソースは、セットアップの段階で機能を再設定できます。詳細は、[21ページをご覧ください](#)。

リモコン操作に関する一般的な情報は、ご使用のリモコン用ガイドをご覧ください。

BeoRemote App



BeoRemote Appを使用するには、モバイル機器とテレビが同じネットワーク上にある必要があります。

BeoRemote Appを使用するとスマートフォンやiOSタブレットでテレビを操作でき、ウェブページや [WebMedia](#) を使用しているアプリケーションの操作に特に役立ちます。^{*1} テレビおよびモバイル機器の両方が同じネットワーク上にあり、[WLAN起動/LAN起動]がオンになっている必要があります。テレビの[節電]メニューをご覧ください。これにより、テレビをスタンバイモードから立ち上げることができます。スタンバイ時の消費電力が若干上がります。

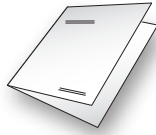
BeoRemote Appをテレビに統合できます。ただし、すべてのBeoRemote One機能に対応しているわけではありません。

初めて設定を行う場合は、必ず BeoRemote One を使用してください。BeoRemote Appを使用するには、テレビがネットワーク上に設定されている必要があります。

^{1*}BeoRemote Appは、最新のiOSバージョンのスマートフォンやAndroid (4.0以降)、iOSタブレット(最新iOSバージョン)に対応しています。

本ガイドの説明

クイックガイドとオンラインガイド

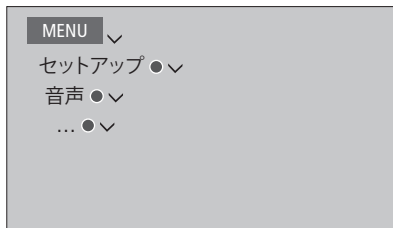


テレビにはテレビについて説明したクイックガイドが同梱されています。



オンラインガイドはテレビの多彩な特徴や機能についてより詳しく説明しています。

メニュー操作

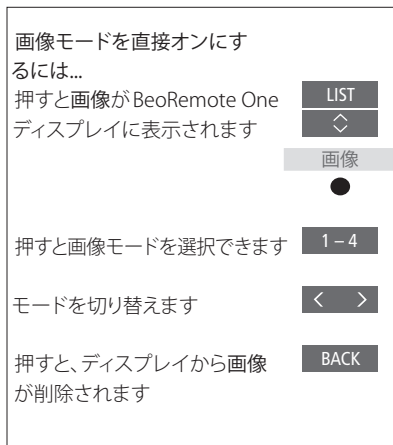


メニュー操作の例

メニューの階層は、各種設定をするためのメニューへ至る道筋を示しています。メニューを選択して開くには、リモコンの **MENU** を押し、矢印ボタン \blacktriangleleft で選択し、**センター** ボタンを押します。

リモコンに **INFO** ボタンがある場合は、それを押しヘルプテキストが表示されます。

リモコン操作



BeoRemote One の操作例

関連箇所では、リモコンの操作方法が記載されています。

- 濃い灰色のボタンは押す必要のある物理ボタンを示しています。
- 薄いグレーの文字は BeoRemote One のディスプレイの文字を示しています。呼び出すには、BeoRemote One の **LIST**、**TV** または **MUSIC** を押します。BeoRemote One のディスプレイに文字が表示されます。**LIST**、**TV**、**MUSIC** の文字は変更でき、必要がない時は文字を非表示にして必要なときだけ表示できます。詳細は BeoRemote One ガイドをご覧ください。

- **センター** ボタンは●と表記され、操作中に **センター** ボタンを押す必要がある場合に使用します。

メニューの操作方法

リモコンを使用して、メニューを操作したり設定を選択できます。**MENU**を押すと、有効なソースの補助メニューを含むメインメニューを呼び出せます。

このガイドはBeoRemote Oneの操作について説明しています。

ディスプレイとメニュー...
ソースと設定を選択します。

BeoRemote Oneディスプレイで映像ソースを呼び出し、電源をオンにするテレビソースを選択します



メインメニューを開く



メニュー内の操作...

メニューが画面に表示されているときは、メニュー項目間の移動、設定の表示、データ入力ができます。

メニューを反転表示したり設定を変更する



データを入力する



サブメニューを呼び出したり、設定を保存する



オプションを選択する



押すと前のメニューに戻ります。押し続けると、メニューが終了します。



メニューページ間の移動...

テレビ画面内に収まらないメニューもあります。この場合、メニューの半分の項目が画面の上部か下部に表示されます。リストの最初から最後まで素早く進むには、**へ**を押します。

ページ内を進む



メニュー項目をスクロールする



チャンネルリストの例。センターボタンを使用して選択してください。

ソースを選択するには...

TVかMUSICボタンを押すとソースが表示されます。リモコンのディスプレイでソースを選択してください。テレビのメニューからソースを選択することもできます。

メインメニューを開く



メインメニューを開く



ソースリストを選択する



セットアップメニューを呼び出す



ソースを選択する



オプションを選択する



ヘルプテキストを表示/非表示にする



¹*言語によっては、ヘルプテキストは英語表示のみとなります。

²ヒントメニューは、セットアップメニューから呼び出すことができます。基本的な特長と機能が記載されています。テレビがソフトウェア更新をした場合(インターネット接続が必要)、新しい特長と機能をここで見るすることができます。

インジケータライト

スタンバイインジケータ

テレビ画面の右上にあるスタンバイインジケータによってテレビの状態を確認できます。

● (緑色に点灯)

テレビの電源は入っていますが、画面に画像が表示されていません。

● (赤色にゆっくり点滅)

テレビが電源から切断されています。再度接続されたため、ピンコードを入力する必要があります。[ピンコードシステムについては、49ページをご覧ください。](#)

● (赤色に速く点滅)

テレビを電源から切断しないでください。新しいソフトウェアが起動中、または不正なピンコードを入力しすぎたことが原因となっている場合があります。

テレビをセットアップする

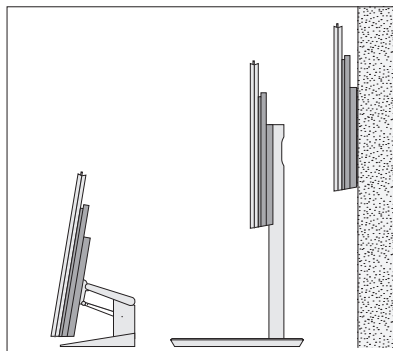
テレビは、スタンドまたはブラケットの使用方法に従って、資格を持つサービス担当者がセットアップしなければなりません。このテレビは、いくつかの設置方法が選べます。設置および接続に関するガイドラインに従ってください。

適切な通気を確保するために、画面の周囲には充分な空間を設けてください。過熱した場合(スタンバイライトが点滅し画面に警告が表示されます)は、テレビの電源を抜かず、スタンバイ状態にして冷えるのを待ってください。その間、テレビの操作はできません。

警告!フロアスタンドに取り付ける場合は、テレビを持ち上げたり、動かしたりしないでください。テレビの画面が破損する可能性があります。販売店にお問い合わせください。

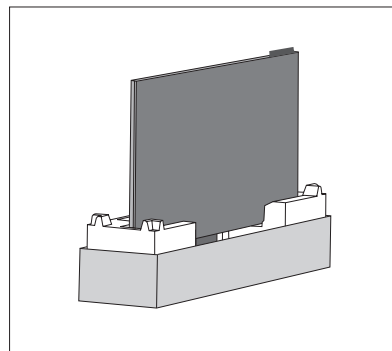
テーブルスタンドに取り付ける場合は、テレビとテーブルスタンドの重量に耐えられるテーブルに設置されていることを確認してください。

設置オプション



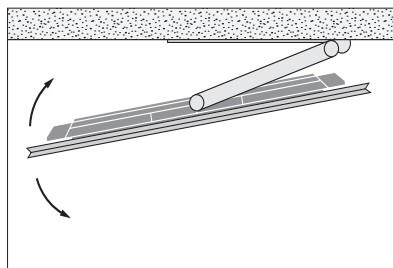
このテレビは、いくつかの設置方法が選べます。使用できるスタンドと壁掛けブラケットについては、www.bang-olufsen.com で確認していただくか、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。テレビのサイズによって使用できるスタンドが異なります。重量のあるテレビですので、持ち上げたり動かしたりする作業は、必要とされる機材を持った専門のスタッフにお任せください。

取り扱い

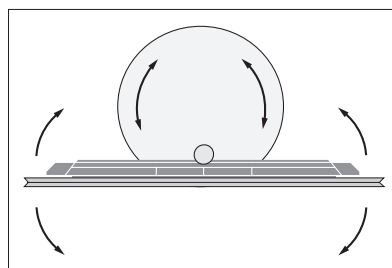


テレビは単独で立つように設計されていません。取り付けが完了するまでは支えが必要です。損傷をさけるため、Bang & Olufsen 認定のブラケットやスタンド以外使用しないでください。

壁掛けブラケット



テレビがモーター内蔵フロアスタンドまたは壁掛けブラケット上で回転する最大角度を設定してください。設置する時は、必ず回転するのに充分な余裕をテレビの周囲に確保してください。テレビをテーブルスタンドに取り付けている場合は、わずらわしい反射を防ぐためにやや傾けることができます。詳細は、[20ページ](#) をご覧ください。

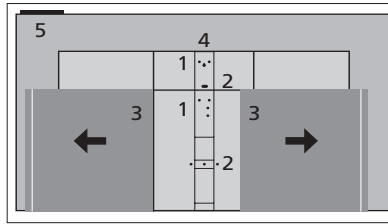


フロアスタンドに取り付けていてテレビが動かない場合は、スタンドから取り外してください。スタンドが移動モードに設定されている必要があります。新しい場所に設置した時は、スタンドを再度設定する必要があります。セットアップからスタンドを呼び出し、再度設定してください。

概要

接続パネルなど、重要な部分の配置は右の通りです:

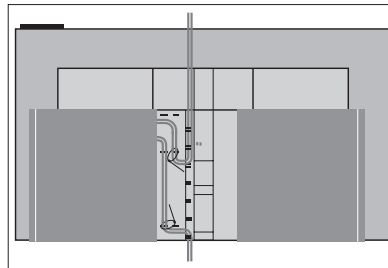
- 1 壁掛けブラケット取付用の穴。
- 2 スタンド取付用の穴。
- 3 メイン接続パネルのカバー。カバーをスライドさせ、接続パネルが見えるようにします。
- 4 イージーアクセスパネル。
- 5 スタンバイインジケータとルームライトインジケータ。



セットアップによって、使用するスタンドと壁掛けブラケットカバーは異なります。カバーの取り付け方法については、スタンドか壁掛けブラケットのガイドを参照してください。

ケーブルをセットする

パネルの上下部分からケーブルを集め、ケーブルタイで束ね、壁掛けブラケットかスタンドの場所に定めて、ケーブルホルダーの後ろで上方か下方にセットします。図を参照してください。



モーター内蔵スタンドまたは壁掛けブラケットに設置する場合は、ケーブルをケーブルタイでまとめる前に、テレビを左右方向に回転させたり傾けたりした場合でも、ケーブルに十分な余裕があることを確認してください。

メンテナンス

クリーニングなどの日常的なお手入れは、お客様ご自身にお願いしております。

画面

水またはマイルドな窓用クリーニング液を使い、拭き跡を残さないよう注意しながら軽く拭いてください。微小繊維で作られた布の中には、研磨力が強すぎて光学コーティングを傷つけてしまう物もあります。

キャビネット

乾いた柔らかい布で表面のホコリなどを拭き取ってください。油污れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を薄く溶いた水と、柔らかい布を使い拭き取ってください。

テレビのクリーニングに、アルコール等の溶剤は絶対に使わないでください。

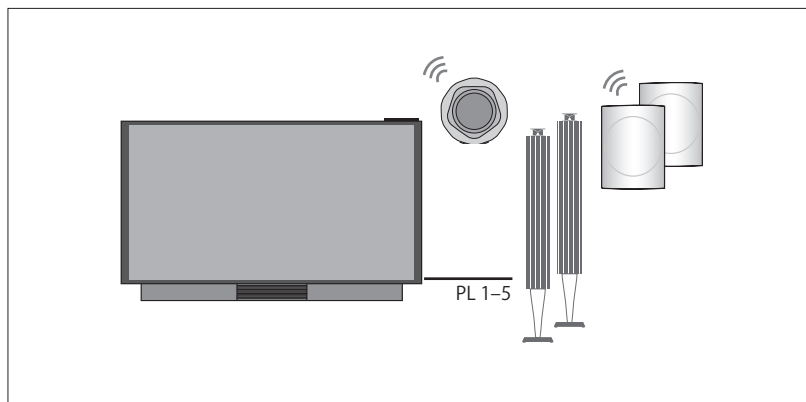
接続

テレビの接続パネルに、DVDプレーヤーや音楽システムなど、さまざまな機器を接続できます。

これらの端子に接続した機器は、赤ボタンを押すと、ソースリストメニューに登録できます。機器がソースリストにない場合は、緑ボタンを押してソースリストに追加してください。詳細は、[21ページをご覧ください](#)。

テレビに機器を接続する前に、必ずテレビの電源プラグをコンセントから引き抜いてください。ソースをHDMI INまたはUSB端子に接続する場合は除きます。

テレビに接続する機器によっては、別のケーブルやアダプタが必要になる場合があります。ケーブルとアダプタは、Bang & Olufsen 販売店でお求めいただけます。



スピーカー

Bang & OlufsenのBeoLabスピーカーをご使用ください。ケーブルはBang & Olufsen 販売店にて販売しています。最大8台のスピーカーをワイヤレスで接続することもできます。詳細は[25ページをご覧ください](#)。

ワイヤレス接続が最適になるように、全てのワイヤレススピーカーをテレビから約9m以内に置くことをお勧めします。

ワイヤレス接続の妨げとなることがあるため、テレビやワイヤレススピーカーの前に障害物を置かないでください。ワイヤレススピーカーはすべて、同室内のテレビから見える場所に配置される必要があります。お使いのスピーカーがワイヤレス接続に対応しているかどうかは、スピーカーのガイドを参照してください。

HDMI™ 出力のある機器

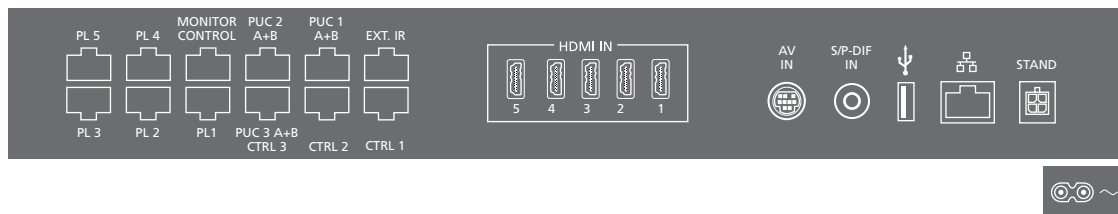
セットトップボックスなどHDMI出力のある機器は、テレビのどのHDMI端子にも接続できます。ただし、UHD（スーパーハイビジョン）ソースにはHDMI1端子を推奨します。接続した機器のセットアップについては、[21ページをご覧ください](#)。

設定したソースは、BeoRemote Oneまたはソースリストで選択できます。設定されていないソースをテレビが検出した場合、何もしない、ソースを表示する、設定するのいずれかを選択するよう求められます。

接続した機器はその機器のリモコンでも操作できますが、Peripheral Unit Controller (PUC) テーブルをダウンロードしてBang & Olufsen リモコンを使用することもできます。[38ページをご覧ください](#)。

テレビを初期設定に戻す必要がある場合は、リージョン設定メニューを表示して、その他の国を選択します。リセットしてもよいか確認されます。すべての設定が消去されますので、画面の指示に従って初期設定を行う必要があります。

接続パネル



メイン接続パネルに恒久的に接続した機器は、電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

電源コードを接続します。電源コードを接続します。電源コードを接続します。

>> 接続

インターネット

インターネットへの接続用。ソフトウェアの更新をするときは、WebMedia、NetRadio、PUCダウンロードにアクセスしてください。

製品とルーター間のケーブル接続は、高電圧との接触を避けるため、建物の外に出ないようになっています。

ソフトウェアが自動更新されるようにテレビを設定することを強くお勧めします。[50ページをご覧ください。](#)

STAND

モーター内蔵スタンドまたは壁掛けブラケットの接続用。[フロアスタンドと壁掛けブラケットのキャリブレーションについては20ページをご覧ください。](#)

イーजीアクセス端子パネル

HDMI IN (6)

外部機器接続用のHDMI IN。カメラやゲーム機も接続できます。

MIC

キャリブレーションマイクの接続用。接続したスピーカーの自動調整が可能になります。

USB (->-)

デジタル写真、ビデオ、音楽ファイルをメディアブラウザ(ホームメディア)から操作するためのUSBデバイス接続用。

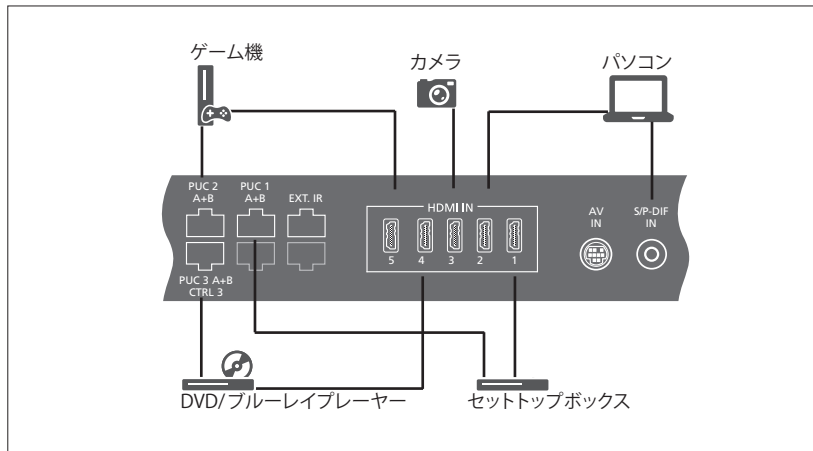


HDMI IN、マイク、USB端子に簡単にアクセス。

デジタルソースを接続する

最大6つの外部 HDMI ソース (セットトップボックス、パソコン、ゲーム機) を接続できます。テレビに接続したすべての機器を設定できます。[21ページをご覧ください](#)。HDMI 6は一時的に接続する機器のための端子です。[15ページをご覧ください](#)。

テレビに接続する機器によっては、別のケーブルやアダプタが必要になる場合があります。PUC 端子が必要な機器が2つ以上ある場合は、別途PUCケーブルを購入する必要があります。ケーブルとアダプタは、Bang & Olufsen 販売店でお求めいただけます。



デジタルソースの接続例

セットトップボックスを接続する

- > ケーブルをセットトップボックスの適切な端子に接続します。
- > ケーブルをテレビの HDMI IN 端子に接続します。
- > セットトップボックスを Bang & Olufsen リモコンで操作できるようにするには、赤外線送信機を PUC 端子のどれかひとつに接続し、それをセットトップボックスの赤外線受信機に取り付けます。[赤外線送信機の詳細は、18ページをご覧ください](#)。
- > ソースの設定は画面の指示に従ってください。

DVD/ブルーレイプレーヤーを接続する

- > ケーブルを DVD/ブルーレイプレーヤーの適切な端子に接続します。
- > ケーブルをテレビの HDMI IN 端子に接続します。
- > DVD/ブルーレイプレーヤーを Bang & Olufsen リモコンで操作できるようにするには、赤外線送信機を PUC 端子のどれかひとつに接続し、それを DVD/ブルーレイプレーヤーの赤外線受信機に取り付けます。[赤外線送信機の詳細は、18ページをご覧ください](#)。
- > ソースの設定は画面の指示に従ってください。

ゲーム機を接続する

- > ケーブルをゲーム機の適切な端子に接続します。
- > ケーブルをテレビの HDMI IN 端子に接続します。^{*1}
- > ゲーム機を Bang & Olufsen リモコンで操作できるようにするには、赤外線送信機を PUC 端子のどれかひとつに接続し、それをゲーム機の赤外線受信機に取り付けます。[赤外線送信機の詳細は、18ページをご覧ください](#)。
- > ソースの設定は画面の指示に従ってください。^{*2}

カメラを接続する

- > ケーブルをカメラの適切な端子に接続します。
- > ケーブルをテレビの HDMI IN 端子に接続します。^{*1}
- > ソースの設定は画面の指示に従ってください。

^{1*} 一時的なソースの接続にも HDMI IN 6 を使用できます。[一時的に接続する機器用端子の位置については、15ページをご覧ください](#)。

^{2*} ソースとしてゲーム機を選択した場合、画像モードのゲームがデフォルトで有効となります。この設定は一時的に画像メニューで変更できます。[31ページをご覧ください](#)。

パソコンを接続する

パソコンを接続する前に、テレビ、パソコン、および接続されているすべての機器を電源から切り離します。

パソコンを接続する

- > 適切なタイプのケーブルを使用して、片方をコンピュータのDVIまたはHDMI出力端子、もう片方をテレビのHDMI IN端子に接続します。
- > パソコンのDVI出力端子を使用する場合は、適切なケーブルを使用してパソコンのデジタル音声出力をテレビのS/P-DIF IN端子に接続すると、パソコンの音声をテレビに接続したスピーカーから聞けるようになります。
- > テレビ、パソコンおよび接続したすべての機器の電源プラグをコンセントに差し込みます。パソコンは、取扱説明書の指示に従ってアース付きのコンセントに接続してください。

アナログソースを接続する

ゲーム機やビデオテープレコーダーなどのアナログソースを1つ接続できます。テレビに接続した機器の設定は、[21ページをご覧ください](#)。

外部機器を接続する前に、すべてのシステムを電源から切り離してください。

アナログソースを接続する

- > 接続する機器の適切な端子にケーブルを接続します。
- > ケーブルをテレビのAV IN端子に接続します。
- > テレビおよび接続したすべての機器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
- > アナログソースのリモコン操作を有効にするには、赤外線送信機をPUC端子のひとつに接続し、それをアナログソースの赤外線受信機に取り付けます。[赤外線送信機の詳細は、18ページをご覧ください](#)。
- > ソースの設定は画面の指示に従ってください。

別のアダプタやケーブルが必要になる場合があります。ケーブルとアダプタは、Bang & Olufsen 販売店でお買い求めいただけます。

赤外線送信機

BeoRemote One または BeoRemote APP で Bang & Olufsen 以外の製品を操作するには、Bang & Olufsen 赤外線送信機を Bang & Olufsen 以外の製品に取り付け、接続パネルに PUC と表示されている端子のひとつに接続します。リモコン操作を確実にするために、送信機を接続した機器の赤外線受信機の近くに取り付けます。取り付ける前に、BeoRemote One または BeoRemote APP を使ってテレビ画面に表示される機器のメニューが操作できることを確認してください。

ソースリストメニューで選択した PUC 端子に対応する送信機をセットアップする場合、赤外線送信機の設定は自動的に行われます。ただし、別の設定をしたい場合は、手で端子のセットアップを行うことも可能です。

PUC ケーブルが別途必要な場合は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。

セットトップボックス用の Peripheral Unit Controller (PUC) テーブルのダウンロード方法は、[21 ページをご覧ください](#)。

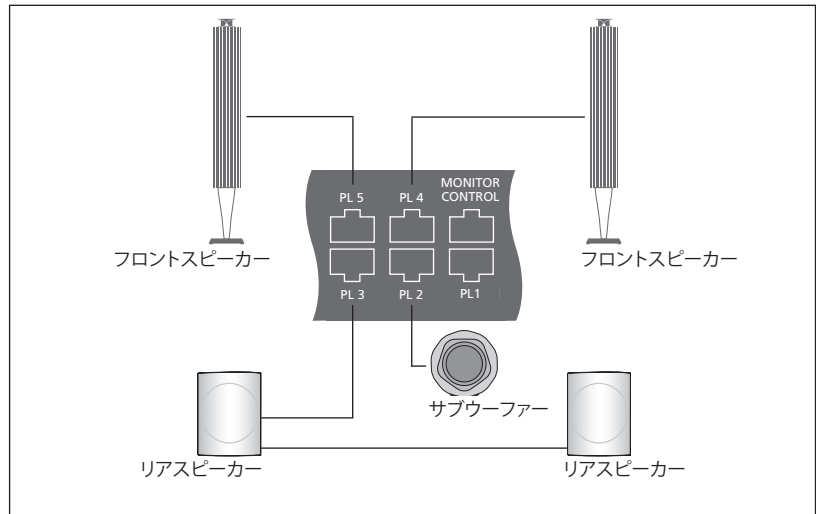
テレビにスピーカーを接続する

Power Linkケーブルを使用して、テレビに最大10台の有線スピーカーおよびサブウーファーを接続できます。

さらに、サブウーファーを含み、最大8台のスピーカーをワイヤレスで接続できます。ワイヤレススピーカーの設定の詳細は、[25ページをご覧ください](#)。

外部機器を接続する前に、すべてのシステムを電源から切り離してください。

テレビに接続するスピーカーの種類によっては、別のケーブルやアダプタが必要になる場合があります。ケーブルとアダプタは、Bang & Olufsen 販売店からご入手いただけます。



スピーカー設置例

スピーカーを接続する

- > システムに接続するスピーカーの適切な端子にPower Linkケーブルを接続します。^{*1}
- > テレビのPL 1-5と表示されている端子で空いているものにケーブルを接続します。
- > サブウーファーの適切な端子にPower Linkケーブルを接続します。
- > テレビのPL 1-5と表示されている端子で空いているものにケーブルを接続します。
- > テレビおよび接続したスピーカーの電源プラグをコンセントに差し込みます。

テレビのPL端子に2台のスピーカーを接続する場合に、スピーカーの間でケーブルをループさせられないときは、スプリッターが別途必要です。詳細については、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

¹スピーカーをリスニングポジションの右に置くか左に置くかによって、スイッチをスピーカーの左右どちらかに配置してください。

テレビ回転位置の設定

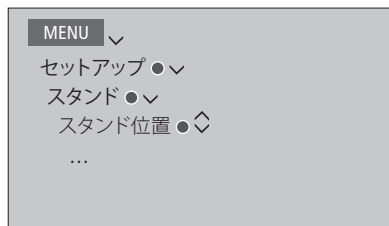
オプションのモーター内蔵フロアスタンドまたは壁掛けブラケットを使用している場合は、リモコンを使ってテレビ全体を回転させることができます。

テレビの電源を入れると、テレビが自動的に回転してお好みの視聴位置に向くように設定できます。たとえば接続されたラジオなどを聴くときは別の位置に回転したり、テレビの電源を切るとスタンバイ位置に回転するよう設定することもできます。また、その他のスタンド位置を設定することで、その他の視聴位置にも向けることができます。

テレビにオプションのモーター内蔵テーブルスタンドを使用している場合は、わずらわしい反射を防ぎたいときなどに、スタンド調整メニューでわずかに傾くように設定できます。

スタンド位置のプリセット

モーター内蔵フロアスタンドや壁掛けブラケットを使用している場合は、ビデオモード、音声モード、スタンバイモードそれぞれに個別に位置を選択してください。また、ソファやダイニングテーブルなど、お好みのスタンドポジションを設定することもできます。



スタンド位置メニューでスタンド位置を保存したり、名前を付けたり、削除したりできます。

現在のスタンド位置を空欄のスタンド位置フィールドに保存したい場合は、そのフィールドを選択してセンターボタンを押すだけで実行できます。保存後にそのスタンド位置に名前を付けることができます。

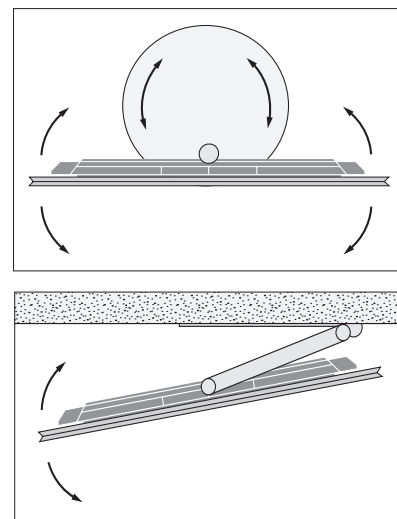
スタンバイ、ビデオ、音声スタンド位置の名前の変更または削除はできません。また、スタンド位置が設定されていないフィールドには名前が付けられません。空のフィールドは<…>と示されます。言語によっては、あらかじめ設定されている名前から選択する必要があります。

スタンドの回転範囲を微調整する

モーター内蔵フロアスタンドまたは壁掛けブラケットを使用している場合、初めてスイッチをオンにする際、回転する最大範囲を微調整して設定するよう求められます。フロアスタンドの場合は、画面の指示に従って、スタンドから壁までの距離を入力することで設定が完了します。テレビのモータースタンドは、この調整と設定を完了しないと動作しません。後でテレビの設置位置を変更した場合(例: 部屋の角へ移動)、モーター動作の再調整が必要になります。[テレビの移動に関する詳細は10ページをご覧ください。](#)



設置方法により、スタンド位置または壁掛けブラケット位置用のメニューを表示することができます。



テレビが向きを変える最大範囲を、右方向と左方向のそれぞれについて微調整しながら設定します。

外部機器のセットアップ

テレビにビデオ機器を追加接続する場合は、ソースリストメニューで接続したソースを見つけ、赤ボタンを押すと、機器の設定ができます。^{*1}

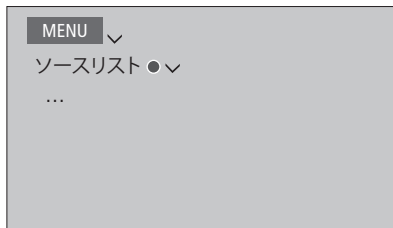
テレビがオンの状態で、追加で機器をHDMI IN端子に接続した場合、テレビが設定されていないソースを検出します。メッセージが画面に表示されますので、画面の指示に従いソースを設定します。

ソースには、たとえば多くの状況に適した音声や画像などの初期設定がありますが、適宜変更することが可能です。ソースを選択し、赤ボタンを押し、詳細設定メニューを選択します。^{*1}ソースを選択したときに有効になるスピーカーグループも設定できます。

^{1*}ソースがソースリストになく、使用していない場合は、緑ボタンを押し、すべてのソースが表示されるリストを呼び出してください。

接続されている機器は?

テレビに接続された機器を登録すると、BeoRemote Oneでその機器を操作できます。



ソースを反転表示し、赤ボタンを押して設定します。^{*1}ソースに名前を付けることもできます。

^{*2}BeoRemote OneのTVまたはMUSICボタンでスタンバイ状態から直接起動させるソースの設定もできます。これでソースの操作が可能になります。

^{2*}BeoRemote Oneディスプレイでソースに名前を付ける方法については、BeoRemote Oneのガイドをご覧ください。

PUCテーブルのダウンロードまたは削除

インターネットに接続している場合、Peripheral Unit Controller (PUC) テーブルをダウンロードして、BeoRemote Oneでセットトップボックスなどの接続している機器を操作できます。

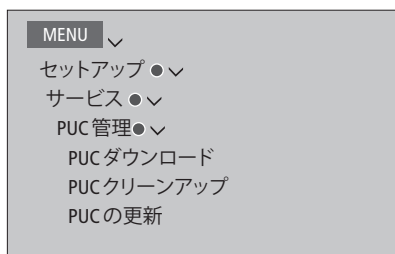
PUCテーブルは、プロジェクター、DVDプレーヤー、セットトップボックス、ゲーム機など、多数の他メーカー製品にも利用できます。インターネット上のPUCテーブルリストは定期的に更新・拡張されます。

PUCテーブルをダウンロードする

設定中に、BeoRemote Oneで接続した機器を制御できるようにしたいかどうか質問されます。可能な場合は、画面の指示に従い、Peripheral Unit Controller (PUC) テーブルをダウンロードします。テレビがインターネットに接続している必要があります。

接続した機器がダウンロードしたリストにない場合は、現在制御方法がないということなので、サポートされていないソースを選択してください。BeoRemote Oneで機器を操作することはできません。サポートされていないソース用のPUCテーブルは、Bang & Olufsen販売店までお問い合わせください。

つづく...



検索には英数字を使用してください。アルファベット以外の文字を含む機器名については、名称内のアルファベットを含む箇所を検索してください。また、閲覧機能を使用して正しいPUCテーブルを検索することもできます。

PUCテーブルはいつでもダウンロードできます。

PUC テーブルについての詳細は、Bang & Olufsen 販売店までお問い合わせください。

PUC テーブルソフトウェアを更新する

PUC の更新メニューでは、更新できるソフトウェアがある場合、PUC テーブルを選択してセンターボタンを押すとテーブルのソフトウェアを更新できます。緑ボタンを押すと更新を確認でき、赤ボタンを押すとテーブルに関する詳細が、黄色ボタンを押すとテーブルの履歴が見られます。

ソースの設定をリセットする

ソースをテレビの特定の端子に接続して設定をし、その後ソースの接続を半永久的に外した場合、ソース設定をリセットする必要があります。ソースリストメニューのソースを反転表示させてから、赤ボタンを押して、初期設定にリセットを選択します。はいを選択すると、この端子に対するソースの設定はリセットされず。次回端子にソースを接続するときには、ソースを設定する必要があります。

詳細設定メニューで初期設定にリセットを選択して、そのメニューのみ初期設定にリセットすることもできます。

PUC テーブルを削除する

ダウンロードして使用していないPUC テーブルを削除するには、PUC クリーンアップメニューを呼び出します。テーブルを削除する前に、PUC テーブルに含まれている接続製品の設定を解除してください。

テレビを見る

テレビを見るには、機能に関連したソースにアクセスし、テレビを回転させてください。

お気に入りのソースをすぐに呼び出すには、BeoRemote OneのMyButtonsの一つにそのソースを保存してください。詳細は、[33ページをご覧ください](#)。

ソースを選択するには...
BeoRemote Oneディスプレイでテレビソースを呼び出して選択します



TV



または

MENU

メインメニューを呼び出します

ソースリストを選択する



テレビソースを選択します*1



チャンネルを選択するには...
押してチャンネルを選択できます

P +/-

または

0-9

1つ前のテレビチャンネルを選択します

0

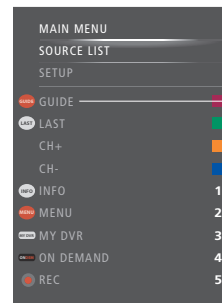
補助メニューを呼び出すには...
メインメニューを呼び出します

MENU

機能を使用可能にします*2

1-9

または



テレビ機能

リモコンのボタン

補助メニューの例。

フロアスタンドに取り付けたテレビを回転させるには...
押してスタンドをBeoRemote Oneディスプレイに呼び出します

LIST



スタンド



フロアスタンドのパイプを使ってテレビを回転させます



フロアスタンドのベースを使ってテレビを回転させます



テレビ回転位置を選択します

または

0-9

*1 BeoRemote OneのTVボタンでスタンバイ状態から直接起動させるセットトップボックスを設定できます。ソースリストでセットトップボックスのソースを反転表示し、赤ボタンを押し、スタンバイから反転表示して、または>を押してテレビを呼び出し、センターボタンを押します。ソースがソースリストにない場合は、緑ボタンを押してソースを探してください。

*2 最初にMENUを押さずにカラー機能をオンにすることもできます。

つづく...

>>テレビを見る

壁掛けブラケットに取り付けたテレビを回転させるには...

押してスタンドを BeoRemote Oneディスプレイに呼び出します



テーブルスタンドに取り付けたテレビを傾けるには...

押してスタンドを BeoRemote Oneディスプレイに呼び出します



テレビ全体を回転させます



テレビを傾けます



テレビ回転位置を選択します



電動フロアスタンドまたは壁掛けブラケット機能を使うには、まず初めにフロアスタンドまたは壁掛けブラケットを調整する必要があります。テレビの回転位置をプリセットする方法については、[20ページをご覧ください](#)。

スピーカーの設定 - サラウンドサウンド

テレビに BeoLab スピーカーと BeoLab サブウーファーを有線またはワイヤレスで接続すると、リビングルームにぴったりのサラウンドサウンドシステムが簡単に構築できます。複数のスピーカーが設置された空間で、最適なサウンドを楽しむことができます。

また、スピーカーのセットアップをテレビの正面以外の位置（ダイニングテーブルやソファなど）にカスタマイズしたスピーカーグループを構築することもできます。

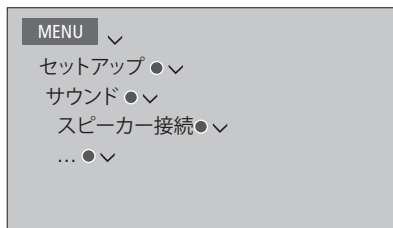
本ガイドにてスピーカーの基本セットアップの方法を記載します。より高度な音響設定や調整については、次のサイトに掲載の Technical Sound Guide をご覧ください。www.bang-olufsen.com/guides。

スピーカーグループの基本的な使用方法については、[29 ページをご覧ください](#)。

視聴するコンテンツのプロバイダーによっては、デジタルワイヤレスサウンドのスピーカーへの配信を禁じる場合があります。その場合は、有線接続の Power Link スピーカーをお使いください。

スピーカーを設定する

テレビに有線接続と無線接続の両方を設定します。



有線スピーカー

有線でスピーカーを設定するときは、スピーカー接続メニューで各 Power Link 端子にどのスピーカーを接続したかを選択する必要があります。^{*1}

¹* スピーカー接続メニューにスピーカーを接続した Power Link 端子が何も表示されない場合は、**緑**ボタンを押して、すべての Power Link 端子を表示してください。

重要! スピーカー接続リストでスピーカータイプにラインを選択した場合、音量が非常に大きくなり、かつ BeoRemote One で音量調整ができません。製品専用のリモコンをご使用ください。ラインは、たとえば Bang & Olufsen 製品以外のアンプなどで使用します。

ワイヤレススピーカー

セットにワイヤレススピーカーが組み込まれている場合、テレビは最初の設定時に、自動的にワイヤレススピーカーをスキャンして、検知されたスピーカーを無線 Power Link チャンネルに関連付けます。ただし、スピーカー接続メニューから、ワイヤレススピーカーのスキャン、および検知されたワイヤレススピーカーと無線 Power Link チャンネルとの関連付けを手動で行うこともできます。

ワイヤレススピーカーのスキャンと関連付けるには…

スピーカー接続メニューでこのボタンを押すと再スキャンを開始します

スキャンが終了したら、このボタンを押して、検知されたスピーカーをテレビと関連付けます

テレビとスピーカーとの関連付けを解消するには…

スピーカー接続メニューでスピーカーを選択します

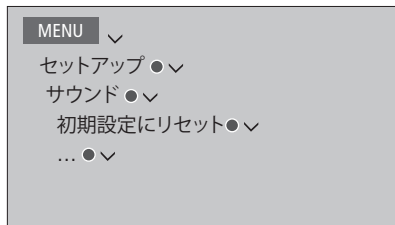
このボタンを 1 回押してスピーカーの関連付け解除機能をオンにします。ボタンをもう 1 回押して、解消を確認します。

スピーカー接続メニューのスピーカーの状態が紛失中の場合は、スピーカーはワイヤレスチャンネルに関連付けられており、可能な場合は再度自動的に検出されます。

つづく…

音声設定をリセットする

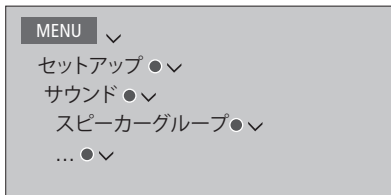
音声セットアップを変更した時など、何らかの理由で音声設定を初期設定値にリセットする必要がある場合は、音声メニューからリセットできます。初期設定値にリセットすると、スピーカーの種類とスピーカーグループ設定が削除され、登録したすべてのワイヤレススピーカーの関連付けが解消されます。



初期設定にリセットを選択すると、リセット後に音声設定の初期設定が開始されることを確認するメッセージが表示されます。

関連付けを解消したワイヤレススピーカーを再度設定するには、スピーカーの設定をリセットする必要があります。スピーカーのガイドをご覧ください。

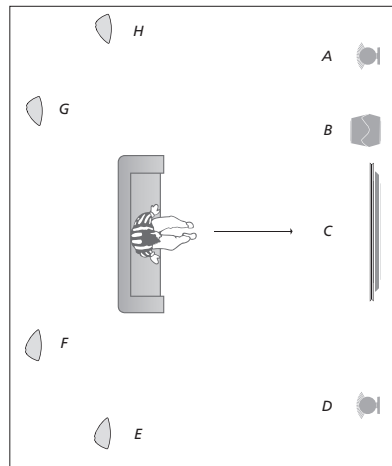
スピーカーグループを作成する



リスニングポジションに合わせて、またはスピーカーの組み合わせに応じて、異なるスピーカーグループを作成できます。各グループでスピーカーに役割を割り当て、スピーカーとリスニングポジション間の距離を設定し、スピーカーグループメニューから手動で、または付属のキャリブレーションマイクや外部スピーカーを接続している場合はセットアップウィザードから自動で、各スピーカーグループに距離とスピーカーレベルを設定できます。距離とレベルが自動的に設定された場合は、キャリブレーションマイクだけでスピーカーの調節ができます。

また、スピーカーグループに名前を付けたり、不要になったグループを削除したりすることもできます。テレビのスピーカーグループにはあらかじめ名前が定義されており、テレビの前に座って視聴するときのためにグループをセットアップできます。

接続した各スピーカーに役割を与えると、サラウンドサウンドにおける各スピーカーの機能が決まると同時に、使用されるスピーカーの本数も決まります。



テレビ視聴の例...

スピーカーA:	左前
スピーカーB:	サブウーファー
スピーカーC:	中央
スピーカーD:	右前
スピーカーE:	右サラウンド
スピーカーF:	右後
スピーカーG:	左後
スピーカーH:	左サラウンド

TVまたは既存のグループを反転表示しているときに**赤**ボタンを押すと、そのスピーカーグループを有効にできます。

テレビのスピーカーグループは名前の変更や削除ができません。[スピーカーグループの基本的な使用方法については、29ページをご覧ください。](#)

スピーカーグループをさらに高度な設定にするには、www.bang-olufsen.com/guidesにあるTechnical Sound Guideをご覧ください。

距離とレベルを自動的に調節するには...
接続したマイクを現在のスピーカーグループ用の主要リスニングポジションに配置します

マイクの自動検出時に、マイクのキャリブレーションを選択します¹

押すとキャリブレーションが開始されます

スピーカーグループ用の追加のリスニングポジションを測定したい場合は、はいを選択し、手順を繰り返します。

¹* ポップアップメニューでは、新しいスピーカーグループの作成、現在のスピーカーグループ以外のスピーカーグループの最適化、スピーカー接続の設定、何もしないを選択できません。画面に表示される指示に従ってください。

マイクのキャリブレーションメニューには、**MENU**を押して、セットアップ、音声、スピーカーグループと選択し、スピーカーグループを選択してもアクセスできます。

キャリブレーション中は周囲の雑音を極力抑えることを推奨します。

設定ウィザードから距離とレベルを設定するには...
接続したマイクを現在のスピーカーグループ用の主要リスニングポジションに配置します

スピーカーグループメニューでスピーカーグループを選択して呼び出します

設定ウィザードを選択し、ウィザード機能呼び出します

確認メッセージが表示されます。はいを選択すると距離とレベルの自動設定を開始します。いいえを選択すると、ウィザード機能をキャンセルします。希望に応じて、スピーカーグループ用に追加のリスニングポジションの測定を繰り返すことができます。

キャリブレーションが完了したらこのボタンを押します。

内部スピーカーとサブウーファースの役割もセットアップウィザードから設定できます。

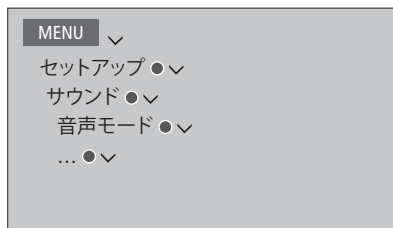
キャリブレーションまたはセットアップウィザードの手順を確認すると、スピーカーグループの以前の設定はすべて消去されます。

キャリブレーションマイクの接続については、[15ページをご覧ください](#)。

音声モードを設定する

テレビにはプログラムやソースの種類別に最適化された複数の音声モードがあります。音声モードの値は、お好みに合わせて調整できます。音声モードには、あらかじめ名前が付けられています。たとえば、DVDやブルーレイを見るには映画、ゲーム機使用時の音質を向上させるにはゲームを使用します。カスタム音声モードは、新しい使用方法や設定を定義したい場合に使用します。このモードのみ名前を変更できます。アダプティブ音声モードはそれ自体はモードではなく、複数の音声モードから選択することで選択したソースやコンテンツに適応します。

音声モードに関してより高度な設定をするには、www.bang-olufsen.com/guidesにある Technical Sound Guide をご覧ください。



音声モードを初期設定値に戻す場合は、特定の音声モードの設定メニューで初期設定にリセットを選択し、値をリセットすることを確認します。

BeoRemote One の **LIST** メニューにある **サウンド** を選択し、**センター** ボタンを押すと、テレビ画面に音声モードのリストを表示できます。ここから、数字ボタンで音声モードを選択できます。[音声モードの基本的な使い方については 29 ページをご覧ください。](#)

音声モードとスピーカーグループの基本的な使い方

BeoLab スピーカーやサブウーファーを追加することで、テレビをサウンドサウンドシステムに拡張できます。

いずれかのソースのスイッチをオンすると、テレビは使用しているソースに適切な音声モードを自動的に選択します。ただし、いつでも他の音声モードを選択できます。

また、テレビのスイッチをオンにすると、テレビのスピーカーグループが自動的に選択されます。ただし、ダイニングテーブルやソファに座っているときなど、テレビの前にはいない状態で音楽を聴きたいときには、いつでも他の有効なスピーカーグループを選択できます。

音声モードの設定を調整し、スピーカーグループを設定できます。音声モードの設定とスピーカーグループの作成についての詳細は、[26～28ページをご覧ください](#)。

音声モードを選択する

使っているソースに適した音声モードを選択します。

音声モードを選択するには...
押して BeoRemote One ディスプレイにサウンドを呼び出します

LIST
◇
サウンド ●

押して任意の音声モードを選択します

1-9

モードを切り替えます

< >

押すとディスプレイからサウンドを削除できます

BACK

スピーカーグループを選択する

リスニングポジションに適したスピーカーグループを選んでください。

スピーカーグループを選択するには...
押して BeoRemote One ディスプレイにスピーカーを呼び出します

LIST
◇
スピーカー ●

押して任意のスピーカーグループを選択します。選択されたスピーカーが自動的に挿入されます。

1-9

グループを切り替えます

< >

押すとディスプレイからスピーカーを削除できます

BACK

ソースの設定で、そのソースのスイッチをオンにしたときに自動的に選択される音声モードとスピーカーグループを設定できます。設定は詳細設定メニューで行います。詳細設定メニューはソースリストメニューでソースを反転表示し、赤ボタンを押すと表示されます。ソースがソースリストにない場合は、緑ボタンを押してソースを探してください。

音声および画像設定の調整

工場出荷時に音声と画像は、ほとんどの音声源や映像源に適合するように、中間の値に設定されています。各設定は、お好みに合わせて調整できます。

音量、低音、高音などの音声設定を調整したり、接続スピーカーの場合は、エコモードを設定したりすることができます。画像設定には、コントラスト、ブライトネス、色、視聴距離などがあります。

音声と画像の設定は、テレビの電源を切るまで一時的に変更したり、半永久的に保存することもできます。

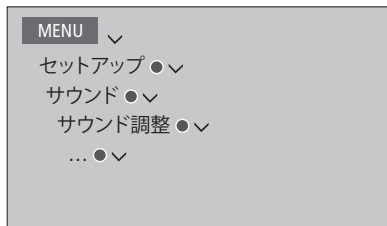
たとえば、ゲーム機をテレビに接続している場合はゲームモードにするなど、異なる画像モードを有効にできます。

画像フォーマットの変更方法については、[32ページをご覧ください](#)。

音声設定を調整する

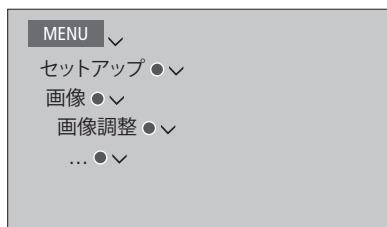
音声設定の調整は音声メニューから行います。音声説明メニューで、音でテレビ画面の動作が伝わるようにテレビを設定できます。リージョン設定にある言語メニューの視覚障害メニューフィールドを有効にしておいてください。

エコモードを有効にした場合、スピーカーグループ内で信号を受信していない接続スピーカーがすべてオフとなり、電力を節約します。



画像設定を調整する

画像メニューで、画像の設定を調整できます。画像調整メニューでは、詳細設定メニューを呼び出して、選択した機器の設定を変更することができます。たとえば、画像設定をリセットできます。**INFO**を押すと、メニューのヘルプテキストを呼び出せます。



画面から一時的に画像を消すには、**LIST**を押し、次に \leftarrow を押して、BeoRemote Oneディスプレイに**画像オフ**を表示させ、**センター**ボタンを押します。画像を元に戻すには、**TV**を押します。

画像モード

タイプの異なる映像源に適用するためのさまざまな画像モードを選択できます。テレビにゲーム機を接続していたり、テレビをモニターとしてパソコンでゲームをプレイする場合は、ゲームモードを選択してください。ゲームモードは、信号処理で発生する遅延を最小限に抑えます。その他の画像モードには、映画、モニター、アダプティブがあります。画像メニューでソースに対して画像モードを選択すると、テレビの電源を切るまで、または別のソースに切り替えるまで、その画像モードが維持されます。

ソースを設定するときは、ソースをオンにすることで自動で画像モードが選択されるように設定することができます。設定は詳細設定メニューで行います。詳細設定メニューはソースメニューで設定したいソースを反転表示し、赤ボタンを押すと表示されます。[外部機器の設定については、21ページをご覧ください。](#)

画像モードを直接オンにするには...

押すと画像がBeoRemote Oneディスプレイに表示されます



押すと画像モードを選択できます



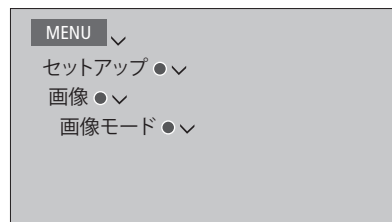
モードを切り替えます



押すと、ディスプレイから画像が削除されます



テレビメニューから画像モードを調整するには...



画像フォーマット

ソースリストメニューでは、それぞれのソースに対して、赤ボタンを押すと、そのソースの起動時に毎回使用される画像フォーマットを設定できます。別の画像フォーマットを一時的に選択することもできます。

[外部機器の設定については、21ページをご覧ください。](#)

画像フォーマットを直接オンにするには...

押してBeoRemote Oneディスプレイにフォーマットを呼び出します



フォーマット



押すと画像フォーマットを選択できます



フォーマットを切り替えます



画像を移動できる場合、移動させます



押すとディスプレイからフォーマットを削除できます




ソースがUHD信号を示している場合は、画像フォーマットを変更できません。

テレビ体験のカスタマイズ

現在視聴しているコンテンツや再生履歴の「スナップショット」を保存しておけば、ボタンを一度押すだけで簡単にそのコンテンツに戻れるように、テレビ体験をカスタマイズできます。スナップショットには、スタンド位置、スピーカーグループの選択ソースと選択設定や、音声および画質の調整、音声および画質モードが含まれます。NetRadioや操作アイテム(局等)などの内部ソースについても、保存できます。

スナップショットを保存する


最大 3 つのスナップショットを保存でき、リモコンの 3 つの専用ボタンで起動できます。テレビのスイッチがオンになっていて、ソースが選択されている必要があります。

スナップショットを保存するには...
MyButtonsの1つを押したまま  にすると、現在視聴しているコンテンツを保存できます

すでにスナップショットが保存されているボタンでスナップショットを保存すると、既存のスナップショットと新しいスナップショットが置き換えられます。

スナップショットを使用する

テレビを見る時に希望のスナップショットを使用してください。

スナップショットを使用するには...
希望のスナップショット用のボタン  を押します

保存したスナップショットを呼び出すと、設定を調整したり、別のソースを選択したり、テレビをスタンバイ状態にするまで、スナップショットの設定が一時的に有効になります。

スナップショットとして保存された操作アイテムを使用できない場合、スナップショットを呼び出せませんが、操作アイテムは選択されたソースの通常のソース動作に従います。例えば、呼び出したスナップショットに保存された局が利用できなくなっている場合、NetRadioソースを選択すると、代わりに最後に操作した局が再生されます。

スナップショットが保存されていないボタンでスナップショットを使用しようとすると、ヒントメニューにパーソナリ化機能が開かれます。

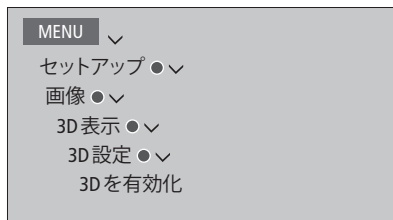
3Dテレビの設定

お好みに合わせて3Dテレビの設定をできます。自動3D信号を利用できる場合は、自動的に3Dに切り替えるかどうか選択してください。

3Dを有効にし、設定を調整する

ソースまたはチャンネルの変更に初めて3D信号が検出されたときに、テレビの3Dモードが自動、手動、または即座に有効になるように設定できます。初期設定ではプロンプトになっています。

3D信号を利用でき、3Dを有効化を自動に設定している場合、テレビは自動的に3Dモードに切り替わります。プロンプトに設定している場合、3Dで表示または2Dで表示を選択してください。手動に設定している場合、メニューを入力して手動で3Dに切り替えてください。



3Dを有効にするには、3Dを有効化メニューを呼び出して、画面上の指示に従ってください。

3Dテレビを見る

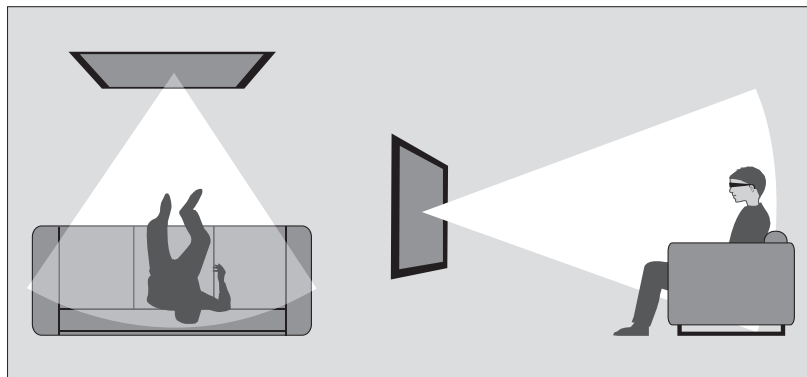
映画やスポーツ、自然映像を観るときなどに、3D技術でさらにテレビをお楽しみいただけます。

3D画像に関する重要な健康・安全情報

3D映像を見ているうち、人によっては目まいや吐き気、頭痛などを感じることがあります。このような症状を感じた時は、ただちに3Dテレビの視聴を中止して3Dメガネを外し、休息してください。3Dテレビを長時間見ていると、目に疲れを感じることがあります。目の疲れを感じた時は、ただちに3Dテレビの視聴を中止して3Dメガネを外し、休息してください。通常のメガネやコンタクトレンズを使用している人は、その上から3Dメガネをかけてください。他の目的に3Dメガネを使用しないでください。お子様が3Dテレビを視聴中は、上記のような不快な症状が起らないように、必ず大人の方が監視してください。3歳以下のお子様には、3Dテレビは見せないことをお勧めします。

2つのソースを同時に画面に表示する場合は、常に2Dモードで表示されます。

字幕が使用できない場合があります。



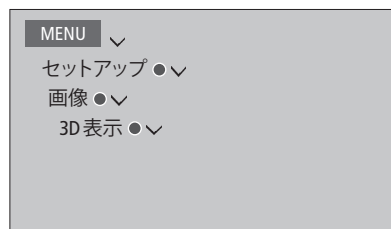
視聴環境

画面の正面で通常の2Dテレビを見るときより少し画面に近い位置に座り、3Dメガネを着用します。画面との最適な距離は、画面の大きさや解像度によって異なります。見る位置が画面中央よりも大きく左右にずれていたり高すぎたり低すぎたりすると、3Dテレビの質が低下します。

電気を消してカーテンを閉めるなどして部屋を暗くすると、3Dを最高の状態でお楽しみいただけます。特に画面の周囲が明るい環境では3D効果が損なわれる可能性があります。3Dテレビは直射日光が当たる場所など明るい場所ではご覧にならないことをお勧めします。

3Dまたは2Dテレビをオンにする

映画やその他のプログラムを3Dで見るときは、3D機能を起動して、販売店で取り扱っている有効な3Dメガネを着用してください。ニュースなど3Dに適さない番組を見るときは2Dモードに切り替えます。



3D表示メニューでは、3Dまたは2Dを選択し、**センター**ボタンを押すと、3Dまたは2Dテレビをオンにするか、モードを選択できます。

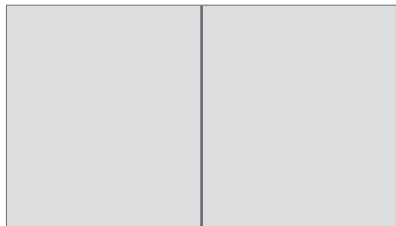
3D信号伝達を利用できる場合は、3Dを選択するとテレビは自動的に3Dに切り替わり、2Dを選択すると自動的に2Dに切り替わります。3D信号伝達を利用できない場合は、3D/2Dモード選択メニューが画面に表示されます。[モードについては36ページをご覧ください。](#)

BeoRemote Oneディスプレイに**2D**および**3D**を追加していれば、**LIST**ボタンから2Dおよび3Dテレビをオンにできます。機能の追加方法についてはBeoRemote Oneのガイドをご覧ください。

3Dモード

プログラムで送信される信号と合致する 3D モードを選択します。

サイドバイサイド3D



2つの画像を水平にスケーリングして、サイドバイサイド3D信号を全画面の3D表示に変換します。

トップアンドボトム3D

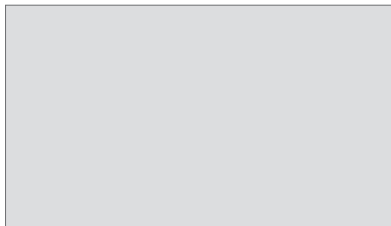


2つの画像を垂直にスケーリングして、トップアンドボトム3D信号を全画面の3D表示に変換します。

2Dモード

プログラムで送信される信号と合致する2Dモードを選択します。

標準2D



変換せずに通常の2Dテレビを表示します。

サイドバイサイド2D



1つの画像を水平にスケーリングして、サイドバイサイド3D信号を全画面の2D表示に変換します。

トップアンドボトム2D



1つの画像を垂直にスケーリングして、トップアンドボトム3D信号を全画面の2D表示に変換します。

3D信号伝達を利用できなくなったら、テレビは現在のソースで最後に使われていたモードに自動的に切り替わります。チャンネルやソースを変更すると、テレビは標準2Dに切り替わります。

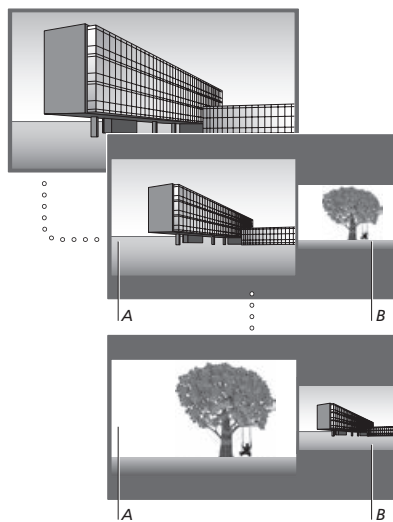
2つの映像を同時に見る

BeoRemote OneでDUAL PICTURE機能にアクセスし、HDMIソース(セットトップボックスやBlu-rayディスクプレーヤーなど)とWebMedia、またはホームメディアの映像を同時に呼び出すこともできます。

組み合わせられないソースがあるため、DUAL PICTURE機能には制限があります。たとえば、2つのHDMIソースを同時に見ることはできません。無効な組み合わせが選択された場合、テレビ画面上にメッセージが表示されます。

DUAL PICTUREを使用中は、UHD信号のソースは表示できません。

3Dを見ているときにDUAL PICTURE機能をオンにすると、テレビは2Dに切り替わります。



たとえば、テレビチャンネルを見ている場合...

押してDUAL PICTUREを呼び出します



DUAL PICTURE



ソースリストを呼び出し、ホームメディアなどのソースを選択し、画面右側(B)で視聴します



ホームメディア



押すと、左画面と右画面を入れ替われます

MENU

0

DUAL PICTURE機能を終了するには...

この機能を終了して、左側の画面の映像を通常どおりの表示(A)に戻すには、TVを選択します。

音量の調節は、常に画面Aを対象とします。画面Bには、チャンネルの選択などの他の操作が適用されます。新しいソースを選ぶと、DUAL PICTURE表示は取り消されます。

外部機器を操作する

このテレビには、接続したセットトップボックス、映像レコーダー、DVDプレーヤーなどの映像機器とBang & Olufsenリモコンを仲介するPeripheral Unit Controller (PUC)が内蔵されています。

Peripheral Unit Controller (PUC) テーブルをダウンロードし、Bang & Olufsen リモコンを使い、Bang & Olufsen 以外の機器が提供する機能にアクセスできます。[PUC テーブルのダウンロード方法については21ページをご覧ください。](#)

機器の電源を入れると、それらの機能はテレビ画面の補助メニューから利用できます。

機器が提供する各機能の詳細については、製品に付属のガイドを参照してください。

このテレビの機能や特徴の一部は、Bang & Olufsen 製以外の製品が接続されると使えなくなる可能性があります。他社製の映像機器の中には、Bang & Olufsen が対応していない製品もあります。サポートされている機器の詳細については、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

BeoRemote One でその他の機器を操作する

外部機器の電源を入れると、その機器の一部の機能は、BeoRemote One を使って操作可能です。補助メニューを画面に呼び出し、追加機能を使用できます。このメニューでは、BeoRemote One のどのボタンで特定のサービスや機能を操作できるか確認できます。

BeoRemote One ディスプレイでソースを呼び出し、接続機器に設定しているソース名 (例えば、HDMI 1) を選択すると、スイッチがオンになります。

押すとソースに関連した機能が含まれているメインメニューが呼び出されます

押して使用したい機能を起動します



HDMI 1



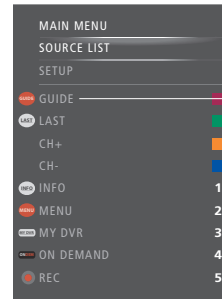
MENU

1-9

または



お気に入りのソースをすぐに呼び出すには、BeoRemote One の MyButtons の 1 つにそのソースを保存してください。詳細は、[33 ページをご覧ください。](#)



テレビ機能

リモコンのボタン

補助メニューの例。BeoRemote One ボタンがメニューの右側に表示され、利用できるアイコンなどボタンでコントロールできる機能が左側に表示されます。このメニューには、接続機器に付属のリモコンのボタンが表示される場合もあります。

BeoRemote One で直接操作する

BeoRemote One のどの色のボタンがどの機能を操作できるかわかっている場合は、補助メニューを呼び出さなくても、その機能を直接操作できます。

機器がオンになっているとき…
押して機能を起動します



使用している機器がその機能に対応している場合は、押してプログラムガイドまたは 'Now/Next' バナーを画面に呼び出します

GUIDE

または

INFO

押して使用したい機能を起動します

MENU

1-9

NetRadio

NetRadioで世界中のインターネットラジオ局にアクセスできます。NetRadioの局を BeoPortal からダウンロードします。ダウンロード中およびラジオ局を再生中はテレビがインターネットに接続されている必要があります。

NetRadioソースを選択すると、最後に再生したラジオ局が再生されます。

特定のラジオ局が見つからない場合は、BeoPortalから受信したリストで利用できなくなっている可能性があります。BeoPortalのリストには新しいラジオ局が加わえられたり既存のラジオ局が削除されたりしますので、利用できるラジオ局のリストは変更されることがあります。

NetRadioをすぐに呼び出すには、BeoRemote OneのMyButtonsの一つにNetRadioを保存してください。詳細は、[33 ページをご覧ください](#)。

MUSIC ボタンを押して、スタンバイ状態のテレビのスイッチをオンにすると、NetRadioソースはデフォルトで有効になります。

インターネットラジオを聴く

BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、ネットラジオなどNetRadio用のソースを選択します*1

ラジオ局を検索するには...
複数のビューでラジオ局を検索できます。ジャンル、言語、国名、名称。いくつかのビューには詳細ビューもあります。

ビューとラジオ局をアイテムごとに検索します。

ビューとラジオ局をページごとに検索します。長押しするとアルファベット順のリストで別の文字にジャンプします

押しと詳細ビューが開かれるか、ラジオ局が再生されます

前のビューに戻ります

ラジオ局を検索する...

検索を選択し、センターボタンを押してオンスクリーンキーボードを呼び出すと、ラジオ局の検索が可能です*2

矢印ボタン、数字ボタン、センターボタンを使用して、探しているラジオ局の検索用語を入力します*3

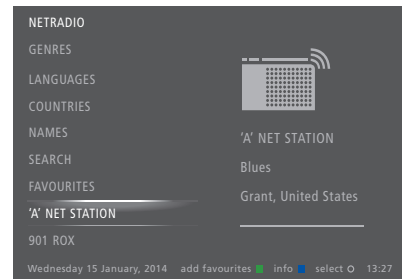
画面上で検索ボタンを反転表示し、検索結果リストに進みます

ラジオ局ごと、またはページごとにリストを動かし、センターボタンを押すと、ラジオ局が再生されます

押しと前の画面に戻り、新しい検索用語を入力できます



ネットラジオ



ラジオ局の再生中は...

押しと現在再生中のラジオ局ビューを呼び出します

押しと再生を停止します

押しと再生を再開します

押しと1つ前または1つ後のラジオ局に進みます

お気に入りリストの中から聴きたいラジオ局のポジションナンバーを入力します

押しとラジオ局の検索が可能になります。画面の情報に従ってください。

押しとお気に入りリストが呼び出されます

押しと反転表示されたラジオ局の情報が呼び出されます。何かキーを押すと、情報が閉じられます。

1 メインメニューを呼び出して、ソースリストを選択してネットラジオを反転表示させて、**センター**ボタンを押してソースを有効にすることもできます。

2 検索メニューは**緑**ボタンを押しても呼び出せません。検索用語に使用できる文字はアルファベットのみです。

3 BeoRemote APPでも検索用語を入力できます。

お気に入りリスト

お気に入りリストには99局まで保存できます。

お気に入りリストに追加するには...

ジャンル、言語、国名、名称、検索結果、最近再生したラジオ局のリストでラジオ局を検索中に押すと、反転表示されたラジオ局がお気に入りリストに追加されます

お気に入りリストがいっぱいの場合、それ以上ラジオ局を追加できません。緑ボタンのヘルプテキストは表示されません。

お気に入りのラジオ局を選択するには...

お気に入りリストを呼び出します

ラジオ局ごとにリストを検索します

ページごとにリストを検索します。

長押しすると、アルファベット順のリストで別の文字にジャンプしたり、番号順のリストの最初か最後にジャンプします。^{*1}

特定のラジオ局のポジションナンバーに移動します

押すとラジオ局の再生を開始します

¹* 緑ボタンを押すと、番号順およびアルファベット順にソートを切り替えられます。

NetRadio ソースを選択し、数字ボタンを使用して、お気に入りリストから直接特定のラジオ局を呼び出すこともできます。

お気に入りリストが空の場合は、スタート画面のお気に入りにはグレー表示されます。

お気に入りリストを編集するには...

ラジオ局を別のポジションに移動したり、ラジオ局を削除したり、お気に入りリストを完全に消去したりできます。

お気に入りリストを呼び出します

押すとお気に入りを編集メニューを呼び出せます

移動または削除したいラジオ局を選択します

選択したラジオ局をリストの外に動かします^{*2}

特定のポジションまでラジオ局を上下に動かします

ラジオ局をリストの空いているポジションに戻します

押すと選択したラジオ局を削除できます。再び押して確認します

押すとお気に入りリストをすべて消去します

確認メッセージが表示されます。リストを消去するにははいを、メニューに戻るにはいいえを選択します。

押すと変更を保存し、前のメニューに戻ります

²* お気に入りリストがいっぱいの場合、空いているポジションがないため、ラジオ局を移動できません。

メインメニューでセットアップを選択し、次にお気に入りを選択しても、お気に入りを編集メニューにアクセスできます。

最近再生したラジオ局

最近再生したラジオ局は、NetRadio ソースを有効にすると、テレビ画面上のビューリストの下にリストされます。ここから直接ラジオ局を選んで再生できます。

ラジオ局を選択する

押すとラジオ局を再生します

履歴を消去するには...

最近再生したラジオ局の履歴を消去できます。

押すと最近再生したラジオ局の履歴が消去されます

押すと確認します

WebMedia

内蔵の Smart TV 用 WebMedia 機能を使用して、映画、YouTube の動画、写真、その他の関連コンテンツを検索できます。WebMedia を使用するとインターネット機能をお使いのテレビに統合することができます。また、他のアプリを追加することもできます。WebMedia を使用するには、テレビがインターネットに接続されている必要があります。[51 ページをご覧ください。](#)

初めて WebMedia を開くと、利用規約への同意が求められます。テレビを初期設定にリセットすると、再度、利用規約に同意する必要があります。選択したアプリをロックしたい場合は、ここで独自のピンコードを作成できます。

WebMedia を BeoRemote APP で操作することもできます。詳細は[6 ページをご覧ください。](#)

*WebMedia に対応していない国もあります。

WebMedia をすぐに呼び出すには、BeoRemote One の MyButtons の一つに WebMedia を保存してください。詳細は、[33 ページをご覧ください。](#)

WebMedia を有効にするには...
BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、ウェブメディアなど WebMedia 用のソースを選択します*1



1 メインメニューを呼び出して、ソースリストを選択し WEBMEDIA を反転表示させて、**センサー** ボタンを押してソースを有効にすることもできます。

基本のナビゲーション...

押すと、インターネットのブラウザや使用可能なアプリ、または使用可能な場合はキーパッドを操作できます



押すと承認または選択します



押すと1つ前のレベルに戻り、長押しすると WebMedia のホーム画面に戻ります



インターネットブラウザ内をナビゲートするには...

押すとウェブページ間を移動します



押すと、見やすいようにウェブページを上下に移動できます



アプリを追加するには...
App Galleryを開きます

国を選択します*2



画面上の指示に従ってアプリを追加します。追加したアプリは WebMedia のホーム画面にあります。

アプリをロック/ロック解除するピンコードを使用して、特定のアプリへのアクセスをロックして制限することができます。アプリを反転表示させ、ロック/ロックを解除するを押します。



WebMedia のピンコードを入力します (テレビのピンコードではありません)*3

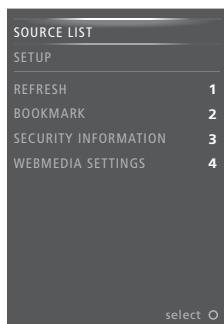


コードを承認します



2 アプリは異なる国から追加できます。ただし、放送局によってブロックされるアプリもあります。
3 ピンコードを選択しなかった場合、初めて WebMedia を起動したときにアプリをロックする前にピンコードを設定するように求められます。

つづく...



WEBMEDIA をソースとして選択し **MENU** を押すと、WebMedia 補助メニューが表示されます。リモコンボタンがメニューの右側に表示され、リモコンボタンの機能が左側に表示されます。

ページを更新するには...

天気予報やオンライン新聞など頻繁に更新されるページの場合、ページを最新の状態に更新することができます。

ブックマークを追加するには...

ウェブページを表示したまま、MENU を押して補助メニューを呼び出します。2 を押すと特定のウェブサイトをブックマークに追加できます。

追加したブックマークはインターネットアプリケーションに保存されます。WebMedia ホーム画面でインターネットアプリを選択すると、追加したブックマークを確認できます。

ページのセキュリティ情報を確認するには...

セキュリティ情報メニューでウェブサイトの URL を確認し、セキュリティ情報を読み出すことができます。

NOW ON TV ソースを変更する

NOW ON TV には選択したソースのプレビューが表示されます。たとえば、HDMI 1 をソースとして選択しセットトップボックスを接続している場合、現在のプログラムのプレビューが表示されます。

ソースは WEBMEDIA 設定メニューで選択します。

NOW ON TV では UHD ソースのプレビューは表示されません。

Spotify、Deezer、YouTube

必要な登録を済ませていれば、SpotifyまたはDeezerにアクセスし、あらゆる状況に合わせて音楽を検索してストリーミングできます。

YouTubeにアクセスして、映画、テレビクリップ、音楽ビデオ、ショートビデオ、ユーザーがアップロードしたコンテンツなど、多彩な動画コンテンツをご覧いただけます。SpotifyやYouTubeを使用するには、テレビがインターネットに接続されている必要があります。[51ページをご覧ください。](#)

* Spotify、Deezer、YouTubeに対応していない国もあります。

Spotifyを有効にする

Spotify Appを呼び出して有効にし、お好きな音楽を探してお楽しみください。

Spotifyを有効にするには...
BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、SPOTIFYなど Spotify用のソースを選択します*1



SPOTIFY



Spotifyアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

*1 メインメニューを呼び出し、ソースリストを選択し、SPOTIFYを反転表示させ、**センター**ボタンを押してもSpotifyを有効にできます。

YouTubeを有効にする

YouTube Appを呼び出して有効にし、多彩な動画コンテンツの世界をお楽しみください。

YouTubeを有効にするには...
BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、YOUTUBEなど Youtube用のソースを選択します*1



YOUTUBE



*1 メインメニューを呼び出し、ソースリストを選択し、YOUTUBEを反転表示させ、**センター**ボタンを押してもYouTubeを有効にできます。

Deezerを起動する

Deezer Appを呼び出して起動し、お好きな音楽を探してお楽しみください。

Deezerを起動するには...
BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、DEEZERなど Deezer用のソースを選択します*1



DEEZER



Deezerアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

*1 メインメニューを呼び出してソースリストを選択し、DEEZERを反転表示させ、**センター**ボタンを押してもDeezerを起動できます。

ホームメディア

ストレージデバイスまたはDLNA/UPnP対応のメディアサーバー経由で接続されている別の機器に保存されている音楽や動画ファイルを再生したり、写真を閲覧できます。ストレージデバイスをお使いのテレビに接続するとホームメディアメニューにアクセスできます。

音楽や写真を保存している場合、音楽を再生し、メインメニューに戻って写真のスライドショーを開始できます。音楽を再生しながら同時に写真を見ることもできます。

パソコンやスマートフォンからコンテンツを再生することもできます。デジタルメディアレンダラー機能の接続については、[53 ページをご覧ください](#)。

ストレージデバイスには、たとえばUSBデバイスや、USBまたはイーサネットで接続されている標準のハードディスクがあります。

対応フォーマットについては、www.bang-olufsen.com/guidesをご覧ください。

UHD (高解像度) 写真は表示できません。

ホームメディアを使う

アーティスト、曲名、トラックの情報がある場合、音楽の再生中に音楽再生中メニューでそれらの情報を確認できます。音楽や、写真や動画ファイルを検索または再生しているときに、**INFO** ボタンを押すと追加情報を表示できます。

音楽を聴くには...
音楽が保存されているストレージデバイスを接続します

BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、ホームメディアなどメディアブラウザ用のソースを選択します*1

押して音楽が保存されているストレージデバイスを選択し、センターボタンを押します

ストレージデバイスがメディアサーバーの場合は、音楽またはフォルダーメニューを押して反転表示させ、センターボタンを押します

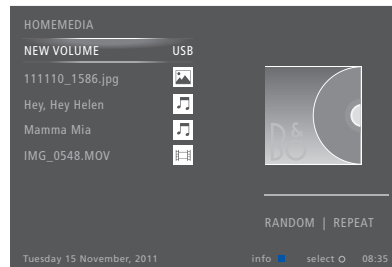
押してファイルとフォルダーを確認し、センター ボタンを押してフォルダーを開くか、またはファイルの再生を開始します

再生中に押すと、トラックを移動します。再生中に長押しすると、早送りします。もう1回押すと、早送りの速度が変更されます。*2

押すと一時停止します

押すと再生を再開します

押すと前のメニューに戻ります。押し続けると、メニューが終了します。



MENU を押してから**赤**ボタンを押しても、音楽再生中を呼び出せます。

1 メインメニューを呼び出して、ソースリストを選択しホームメディアを反転表示させて、**センター** ボタンを押してもホームメディアを起動できます。

2 写真のスライドショー中は、トラックの移動や音楽ファイルの一時停止はできません。

つづく...

写真を閲覧するには...
 写真が保存されているストレージデバイスを接続します

BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、ホームメディアなどメディアブラウザ用のソースを選択します*1



ホームメディア



押して写真が保存されているストレージデバイスを選択し、センターボタンを押します



ストレージデバイスがメディアサーバーの場合は、写真またはフォルダーメニューを反転表示させ、センターボタンを押します



押してファイルとフォルダーを確認し、センターボタンを押してフォルダーを開きます



押すと写真を全画面表示で開きます。スライドショーが自動的に開始します。



押すとスライドショーが中断されます



押すとスライドショーが再開されます



押すと前または次の写真に進みます。一時停止モードの場合も同様です。



押すと現在の写真に関する情報が呼び出されます。



押すとスライドショーを終了してブラウザ画面か前のメニューに戻り、長押しするとメインメニューに戻ります



写真を左周りまたは右回りに回転するには、**MENU** を押し、**2** または **3** を押すか、<または> を押します。

MENU を押してから緑ボタンを押して、写真再生中を呼び出すこともできます。**MENU** を押してから、**緑** ボタンを押しても呼び出せます。

1 メインメニューを呼び出して、ソースリストを選択しホームメディアを反転表示させて、**センター** ボタンを押してもホームメディアを起動できます。

動画ファイルを再生する
 動画ファイルが保存されているストレージデバイスを接続します

BeoRemote One ディスプレイにソースを呼び出し、ホームメディアなどメディアブラウザ用のソースを選択します*1



ホームメディア



押して動画ファイルが保存されているストレージデバイスを選択し、センターボタンを押します



ストレージデバイスがメディアサーバーの場合は、動画またはフォルダーメニューを反転表示させ、センターボタンを押します



押してファイルとフォルダーを確認し、センターボタンを押してフォルダーを開くか、またはファイルの再生を開始します



押すと一時停止します



押すと再生を再開します



押すと1分単位で進みます。早送りするには長押しします。もう1回押すと、早送りの速度が変更されます。



押すと再生中にファイルを移動します。



押すとファイル内の特定の時間点に進みます



押すとビデオ再生を終了してブラウザ画面か前のメニューに戻り、長押しするとメインメニューに戻ります



ビデオ再生中は、**MENU** を押してから、**黄色** ボタンを押すと呼び出せます。

最近選択したファイル一覧を見る

現在接続しているストレージデバイスから最近選択したファイルのショートリストを見ることができます。

BeoRemote One ディスプレイでソースを呼び出し、ホームメディアなど、起動させるためのメディアブラウザ用のソースを選択します。¹検出されたストレージデバイスリストの下に最近選択したファイルが表示されます



ホームメディア



押して再生するファイルを反転表示させ、センター ボタンを押します。



最近の選択リストを消去する場合は、MENU を押してから、1を押します。

¹メインメニューを呼び出してソースリストを選択し、ホームメディアを反転表示させ、センター ボタンを押してもホームメディアを起動できます。

メディア設定をおこなう

音楽・ビデオファイルや写真をランダムまたは繰り返し再生/閲覧したり、または全ての音楽ファイル、写真、動画ファイルを一巡するように選択することができます。また、スライドショーで各写真を表示するための遅延時間も設定できます。

設定メニューを呼び出すには、MENU を押してから4を押します。

写真を回転しているときは、スライドショーの遅延時間はリセットされます。

ホームメディア設定は、メインメニューを呼び出し、セットアップメニューを選択しても表示されます。



プレーヤーモードの例。

ホームメディアを約30秒間操作しなかった場合、プレーヤーモードになり、再生中の情報のみが表示されます。BACK を押すと、ブラウザリストが画面に再び表示されます。ホームメディアメインメニューを表示しているときに BACK を押すことによって、手動でプレーヤーモードを有効にすることもできます。

パソコンやスマートフォンからコンテンツを再生する

写真、音楽、動画ファイルをパソコンまたはスマートフォンのアプリから再生するには、デジタルメディアレンダラー機能を有効化する必要があります。パソコンやスマートフォンで簡単にテレビが認識されるよう、テレビに名前を付けることもできます。デジタルメディアレンダラーを有効または無効にする方法およびテレビに名前を付ける方法については、[53ページをご覧ください](#)。

ファイルの操作や画面に表示される情報はホームメディアの説明と異なる場合があります。すべてのソースコントロールコマンドに対応しないアプリもあります。

Sleep Timer

お使いのテレビには Sleep Timer が内蔵されているため、所定の時間が経過したあと、自動的にスイッチを切ることができます。

Sleep Timer のセット

一定の時間が経過すると、テレビの電源を自動的に切るように設定できます。

Sleep Timer を有効にするには…
押してスリープを BeoRemote One のディスプレイに呼び出します



スリープ



希望の分数になるか、テレビ画面に OFF と表示されるまで繰り返し押しします。



BeoRemote One ディスプレイに **スリープ** を呼び出すには、この機能を機能リストに追加しておく必要があります。機能の追加方法については BeoRemote One のガイドをご覧ください。

電力の設定

テレビがより早く起動するようにしたい場合、クイックスタートタイマーで指定の起動時間を1つまたは2つ設定することができます。この設定をした場合、設定した時間におけるテレビのスタンバイ時の消費電力は通常のスタンバイ時と比べて増大します。

一方、音声や映像、ネットワークなどのテレビのその他の機能において消費電力を抑えるように設定することができます。映像に省電力を設定した場合、消費電力と映像の質の最適な組み合わせを選択できるように、各消費電力の場合の画像の質をプレビューで確認できます。

自動スタンバイメニューでは、ある一定時間操作されないとテレビの電源が自動的に切れるように設定できます。

消費電力を設定する

スタンバイ、音声、映像、ネットワークの消費電力を設定できます。テレビが一定の時間操作されなかった場合、自動的にスタンバイ状態に切り替わるように設定できます。工場出荷時は、4時間に設定されています。この機能はビデオモードでのみ適用され、オーディオモードには適用されません。



起動時間を短くしたり自動スタンバイを設定する場合は、スタンバイメニューを呼び出します。*1

音声に対して省電力を設定する場合は、サウンドメニューを呼び出します。

映像に対して省電力を設定する場合は、画像メニューを呼び出します。

ネットワークに対して省電力を設定する場合は、ネットワークメニューを呼び出します。

自動スタンバイがオンのときに、メニューに設定されている時間内にテレビが操作されなかった場合、テレビの画面にメッセージが表示されます。引き続き操作されない場合、テレビはスタンバイ状態に切り替わります。

15分間何の信号も検出されないと、テレビは自動的にスタンバイになります。

*1クイックスタートタイマーが有効な場合、お使いのテレビは数秒以内に電源が入ります。接続しているセットトップボックスからテレビの信号を受信する場合は、テレビの起動時間はセットトップボックスの起動時間にも左右されます。クイックスタートタイマーを設定した場合、指定時間内の消費電力が増大します。

ピンコード機能

ピンコード機能は、ピンコードを知らない第三者がお客様のテレビを使用するのを防ぐことを目的としています。ピンコード機能を使わないよう設定することもできます。

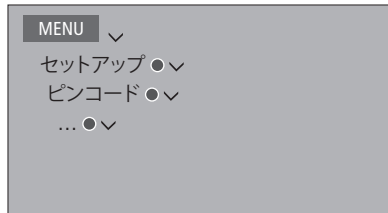
ピンコード機能が有効になっていてテレビがしばらく電源に接続されていない場合、ピンコード機能が起動します。

再び電源に接続してスイッチを入れても、正しいピンコードが入力されない場合、3分経過した時点でテレビは自動的にオフとなります。

重要!テレビに初めて電源を入れたときにピンコードの入力が要求された場合、Bang & Olufsen 販売店より提供されたピンコードを入力してください。

ピンコード機能を有効にする

ピンコード機能がすでに起動している場合、ピンコードメニューを呼び出すとピンコードを入力するように要求されます。ピンコードはいつでも有効または無効にでき、変更できます。



ピンコードの入力時に間違ったボタンを押してしまった場合は、**黄色**ボタンを押してコードを1桁ずつ消去するか、または**赤**ボタンを押して入力フィールドをクリアできます。

誤ったピンコードを5回以上入力すると、その後3時間はテレビが完全にロックされて操作不能となります。スタンバイインジケーターが素早く赤く点滅します。

3時間以内にピンコードを5回以上変更すると、テレビが電源につながれている限り、以後3時間はピンコードメニューにアクセスできなくなります。テレビを電源から切り離すと、操作できない3時間が、改めてカウントされ始めます。

ピンコードを忘れてしまった場合は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。販売店がお教えするマスターコードを使えば、古いピンコードを無効化できます。

ソフトウェアとサービスのアップデート

常に最新の機能を使用できるようにするために、お使いのテレビで自動ソフトウェアアップデートの設定を有効にしておくことをお勧めします。

BeoLink Converter NL/Mを装備したシステムにテレビをセットしている場合は、システム内の全製品を常に最新状態に維持し、通信できるようにするために、システム自動更新を有効にしておくことが重要です。

いつでもソフトウェア情報を調べて、テレビのソフトウェアを手動で更新することができます。

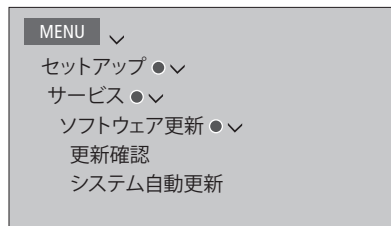
ソフトウェアのアップデート

ソフトウェアアップデートをダウンロードするときは、お使いのテレビがインターネットに接続されている必要があります。ソフトウェアが自動更新されるように、テレビを設定することをお勧めします。テレビの使用の妨げにならないよう、ソフトウェアの自動更新を実行する時刻を設定できます。

ソフトウェアアップデートは、www.bang-olufsen.comをご覧ください。USBデバイスにダウンロードすることもできます。USBデバイスを接続パネルのUSBポートに接続してください。

国によってはアンテナ信号(OAD)によってソフトウェア更新を行うこともできます。アンテナ信号によって更新をする場合は、一部の更新は必須となりキャンセルすることはできません。

ソフトウェアアップデートについては、販売店にお問い合わせください。



テレビが新しいソフトウェアの更新を行っている間はスタンバイインジケーターが赤く点滅し、テレビは電源に接続されている必要があります。

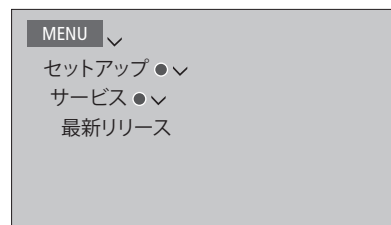
システム更新…

BeoLink Converter NL/Mと複数の Bang & Olufsen 製品を装備したシステムをお使いの場合、更新の確認時に、システム全体が更新されます。テレビメニューの中のシステムソフトウェアの自動更新機能を有効にしてください。そうすることで、システムの Bang & Olufsen 製品で利用可能なソフトウェア更新が定期的に自動でダウンロードされます。*1

*1ソフトウェアの自動更新機能は、製品ごとではなく、システム全体でのみ有効または無効にすることができます。

ソフトウェア情報を見る

現在のソフトウェアのバージョン、リリース日、ある場合はリリースノートの情報を調べられます。



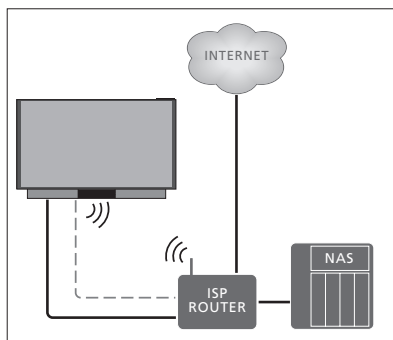
ネットワーク設定

お使いのテレビを、ケーブル接続またはワイヤレス接続でネットワークに接続することができます。最も安定したネットワーク接続を得るために、Bang & Olufsenはケーブルを使った接続をお勧めします。

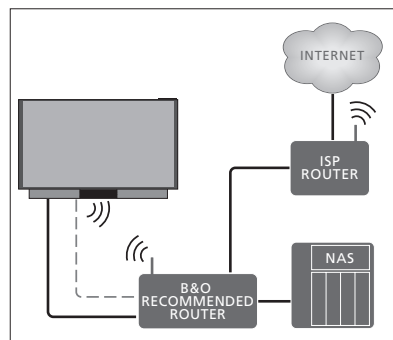
また、デジタルファイルを安定して再生するために、別個のルータ (Network Linkルータ)とアクセスポイントを使用することもお勧めします。

Bang & Olufsenのネットワーク設定についての詳細は、販売店にお問い合わせください。

国によってはワイヤレス接続を設定できず、ケーブル接続を利用しなければならない場合があります。



ケーブル接続またはワイヤレス接続の簡単な設定例

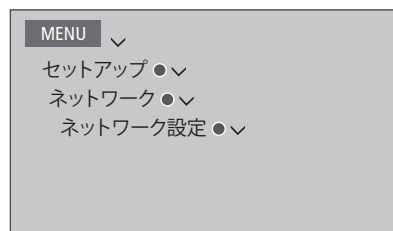


ケーブル接続またはワイヤレス接続の推奨ネットワーク例

ワイヤレス接続を行なう

イーサネットケーブルの片方の端をルータに接続し、もう一方をテレビのイーサネット端子 (E) に接続します。以下の説明は、ネットワーク内でDHCPがオンになっていることを前提としています。LAN設定が自動的に設定されるように設定している場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーは自動的に割り当てられます。

手動で設定するように設定している場合、またはIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバーが何らかの理由で自動的に割り当てられなかった場合は、手動で情報を入力する必要があります。



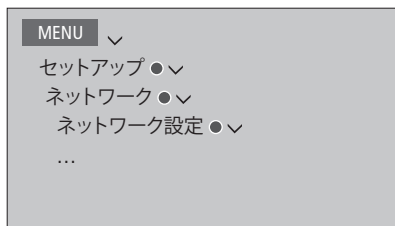
- > LAN 設定を反転表示させ、センターボタンを押します。
- > 緑ボタンを押すと、LAN 接続に名前を付けられます。^{*1}
- > センターボタンを押すと名前が保存され、LAN設定メニューに戻ります。
- > ✓ を押し構成を反転表示します。
- > <または> を押して手動または自動設定を選択します。
- > センターボタンを押して設定を保存します。

手動設定を選択した場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSの値を入力する必要があります。センターボタンを押して、設定を保存します。

^{*1}LAN 接続の名前に使用できる文字はアルファベットのみです。

ワイヤレス接続を行なう

ルーターが WPS 機能を備えている場合、自動的にネットワークにワイヤレス接続を行えます。手動で接続することもできます。以下は、DHCP サービスが有効になっていて、SSID を非表示にしていることを前提としています。



自動的にネットワークにワイヤレス接続する場合

- > センターボタンを押してWLAN設定メニューを呼び出し、WLANを反転表示させます。
- > ルーターのWPS ボタンを押し、WPS機能をオンにします。
- > <または>を押してワイヤレスLANを有効にし、設定を保存します。
- > ▼を押してWLAN 保護設定を反転表示させ、センター ボタンを押してメニューを呼び出します。ここでワイヤレス接続の状況を確認できます。画面に接続されましたと表示されれば、テレビは正常にネットワーク上に設定されています。
- > センターボタンを押して、ネットワークメニューに戻ります。

手動でネットワークにワイヤレス接続する場合

- > センターボタンを押してWLAN 設定メニューを呼び出し、ネットワークリストを反転表示させます。
- > センターボタンを押してネットワークリストメニューを呼び出します。
- > ネットワークのリストを更新したい場合は黄色ボタンを押します。
- > へまたは▼を押してネットワークルーターを反転表示させ、センター ボタンを押すと、パスワードを入力できるようになります。
- > へ、▼、<および>を使ってワイヤレスネットワークのパスワードを入力し、センター ボタンを押して接続を確認します。画面に接続されましたと表示されれば、テレビは正常にネットワーク上に設定されています。
- > センターボタンを押して、ネットワークメニューに戻ります。

ワイヤレスネットワーク信号を確認する場合

- > ネットワーク詳細メニューを呼び出して、詳細情報(WLAN)を反転表示させます。
- > センターボタンを押して詳細情報(WLAN)メニューを呼び出します。
- > 信号強度をレベルメニューで確認します。

***** 非常に良い
**** とても良好
*** 良好
**** 安定している
* 不安定

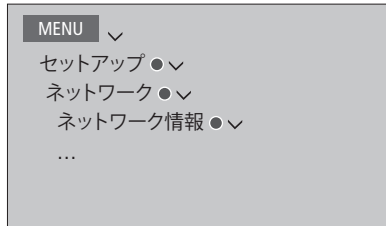
ルーターについての詳細は、ルーターのガイドをご覧ください。

お使いのテレビは2.4~5GHzに対応しています。詳しくは、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

このメニューにアクセスするにはテレビをワイヤレス接続している必要があります。

ネットワーク情報を確認する

ネットワーク情報メニューでネットワーク接続の情報を確認できます。

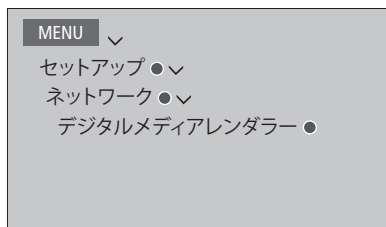


注意:環境の変化によって、それまで順調に機能していた設定で問題が発生する場合があります。イーサネット接続またはルーターを確認してください。問題が解決されない場合は、Bang & Olufsen 販売店にご連絡ください。

デジタルメディアレンダラーを有効または無効にする

デジタルメディアレンダラー機能を使えば、写真、音楽、動画ファイルをパソコンやスマートフォンから再生できます。この機能は初期設定で有効に設定されています。テレビをパソコン、スマートフォン、またはその他のデバイスのモニターとして使用しない場合は、この機能を無効にできます。

詳細は、[46ページをご覧ください](#)。



パソコンやスマートフォンでテレビを簡単に認識するようにしたい場合は、ネットワーク情報を選択し、エイリアスまたはネットワーク設定を選択し、LAN設定、次にエイリアスを選択すると、ネットワークメニューからテレビに名前を付けられます。

デジタルメディアレンダラーメニューで<または>を押すと、レンダラー機能を有効または無効にできます。

Network Linkによる音声の配信

Network Linkによって、音声を同じ家の他の部屋に配信することができます(映像信号は配信できません)。テレビをMaster Link製品に接続する場合は、BeoLink Converter NL/ML(BLC)も使用する必要があります。

たとえば、リビングルームにあるテレビを他の部屋のオーディオまたは映像システムに接続して、他の部屋の音声を聞くことができます。

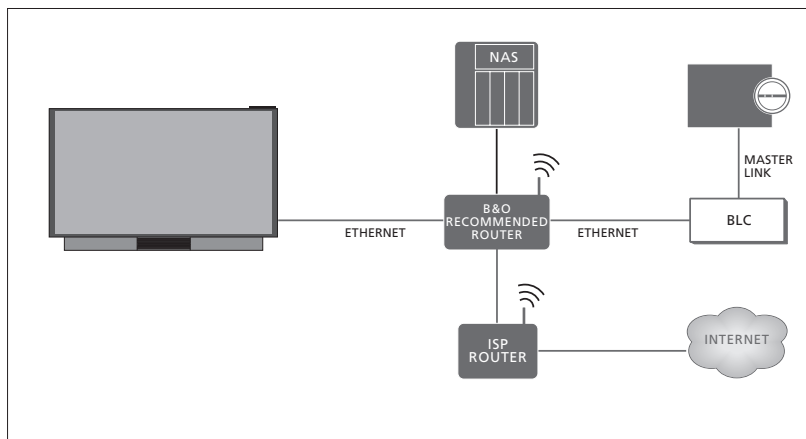
他のBang & Olufsenのオーディオ製品からさまざまなソースにアクセスしたり、テレビメニューを通じて簡単にスピーカーを共有したりしましょう。

コンテンツプロバイダーによっては、音声の配信を遮断する場合があります。

オーディオ設定の統合についての詳細は、[56ページをご覧ください](#)。


映像信号の配信については、[61ページをご覧ください](#)。

リンク接続



Master Link付きのオーディオシステムとのリンクルームセットアップ例。

メインルームのテレビとリンクルームのシステムはBeoLink Converter NL/MLを使って接続してください。リンクルームのシステムがMaster Link付きのオーディオシステムである場合は以下に従ってください。

- > イーサネットケーブルをテレビの  印の端子に接続します。次に、ケーブルをインターネットに接続されているルーターの方へ回します。
- > イーサネットケーブルの一方の端をルーターに接続し、もう一方の端を BeoLink Converter NL/ML に接続します。
- > Master Link ケーブルの一方の端を BeoLink Converter NL/ML に接続し、もう一方の端をオーディオシステムまたは映像システムの Master Link 端子に接続します。

Network Link 付きの Bang & Olufsen の製品は、お使いのテレビと同じネットワーク (ルーター) に直接、接続されます。

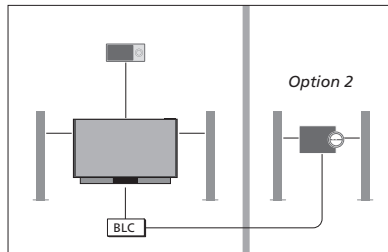
ネットワーク設定の詳細は、[51ページをご覧ください](#)。

外部機器を統合する

外部機器をテレビに統合して、オーディオシステムまたは別のテレビから音楽を聴くことができます。

テレビと同じネットワーク(ルーター)に接続されているBang & Olufsenの他の製品がある場合、その製品でさまざまなオーディオ・映像ソースを視聴することができます。オーディオシステムがMaster Linkに接続されている場合、ネットワークリンクとMaster Linkの「つなぎ」役となるBeoLink Converter NL/MLが必要です。[54ページをご覧ください。](#)

1つのソースから、別の部屋にあるスピーカーでも音楽を再生できます。



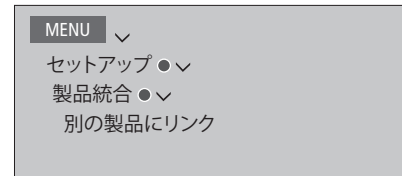
テレビ(追加スピーカーを接続したもの)とオーディオシステムが同じ部屋に設置されており、別の部屋にもう1つのオーディオシステムが設置されている場合:

- [別の製品にリンク]: 同じ部屋にあるオーディオシステムとBLC
- 同じ部屋に設置されているオーディオシステムにテレビのスピーカーを使う: はい
- 別の部屋にあるオーディオシステム: オプション2

[別の製品にリンク]メニューで接続する機器を最大2点まで選択できます。ホームネットワークで確認された機器の一覧が表示されます。

製品からラジオやCDなどのソースにリンクするには、[別の製品にリンク]メニューで赤いボタンを押し、その製品をセットアップしてください。製品を選択するには、そのスイッチをオンにして、リストにその製品が表示されるようにします。2つの製品を選択した場合は、1つの製品を主な製品として設定し、[ソースリスト]でこの製品のソースがテレビの次に表示されるようにします。テレビと同じ部屋にオーディオ製品がある場合は、テレビのスピーカーから音楽を再生できるようにセットアップすることができます。

[別の製品にリンク]メニューで製品を選ぶと、「リンク」記号 (🔗) と製品名が表示されたリンク可能なソースがソースリストに表示されます。



テレビに統合するオーディオシステムまたはテレビの接続については、[56ページおよび58ページをご覧ください。](#)

テレビがシステム設定の一部になっている場合は、LAN/WLAN起動が自動的に設定され、接続機器のスイッチを入れられるようになります。この設定によって消費電力が若干増えます。

BeoLink Converter NL/MLがシステムの一部である場合、機器への接続の有無を問わず、リンク可能なソースが6つリストアップされます。使用していないソースはソースリストメニューのソースリストで非表示に設定できます。

黄色のボタンを押すと[ソースリスト]から[別の製品にリンク]メニューを開くこともできます。

リモコンディスプレイでリンクされたソースを見る方法は、BeoRemote Oneのガイドをご覧ください。

オーディオシステムの接続と操作

対応している Bang & Olufsen のオーディオシステムをテレビに接続すると、オーディオシステムと映像システムの統合によるさまざまなメリットがあります。

オーディオシステムで再生する音楽をテレビに接続したスピーカーで聴いたり、テレビ番組の音声をオーディオシステムのスピーカーに送ることができます。テレビのスピーカーの使用については [55 ページ](#) でも説明しています。

オーディオ/映像システムは1つの部屋だけでなく、テレビがある部屋とオーディオシステムとスピーカーがある部屋など、2つの部屋で利用できます。

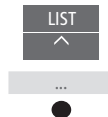
Bang & Olufsen 製オーディオシステムの中には、テレビとの統合に対応していないものもあります。

コンテンツプロバイダーによっては、音声の配信を遮断する場合があります。

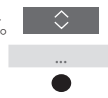
オーディオシステムとテレビの接続

オーディオシステムのオプション設定を行うには Master Linkオーディオシステムに接続している場合、オーディオシステムを正しいオプションに設定してください。リモコンをオーディオシステムの赤外線受信機に向けてください。リモコンと赤外線受信機間の距離は0.5メートル以下になるようにしてください。

BeoRemote One操作方法...
押して BeoVision など使用中の製品を BeoRemote One リストに呼び出します



オーディオシステムを選択します。
初期設定では Beo4 AUDIO が選択されています。



押して設定を呼び出します



押して追加設定を呼び出します



押して製品オプションを呼び出します



押して A.OPT. を呼び出します



適切な番号を入力します (0、1、2、または4)



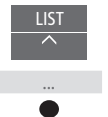
BeoRemote One ディスプレイに **Beo4 AUDIO** を呼び出すには、この製品をリストに追加しておく必要があります。製品の追加方法については BeoRemote One のガイドをご覧ください。

[正しいオプションの例については57ページをご覧ください。](#)

テレビに戻る

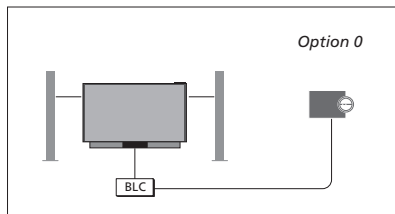
他の製品を操作した後、お使いのテレビに戻ると、BeoRemote One で操作できます。

テレビに戻るときに押して、Beo4 AUDIO など使用中の製品を BeoRemote One リストに呼び出します



BeoVision など、テレビを選択します

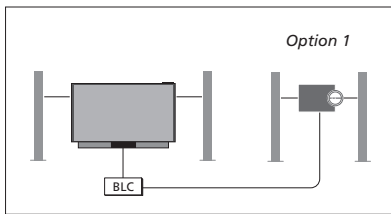




テレビとオーディオシステムが同じ部屋に配され、すべてのスピーカーがテレビに接続されている場合:

- [別の製品にリンク]: BLC
- テレビのスピーカーを使う: はい
- オーディオシステム: オプション0

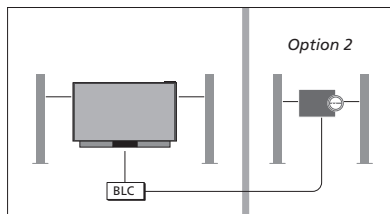
[別の製品にリンク]メニューについては、[55ページをご覧ください](#)。



テレビ(追加のスピーカーの有無を問わない)とオーディオシステム(接続スピーカー有り)が同じ部屋に配される場合:

- [別の製品にリンク]: BLC
- テレビのスピーカーを使う: いいえ
- オーディオシステム: オプション1

Option4についての詳細は、[59ページをご覧ください](#)。詳しくは、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。



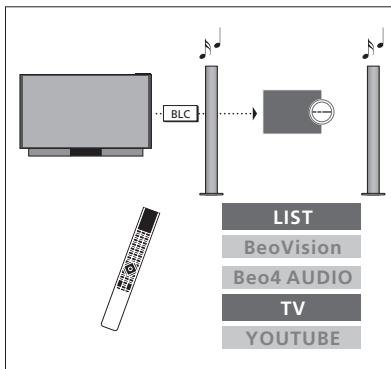
オーディオシステムとテレビ(追加のスピーカーの有無を問わない)が別々の部屋に配される場合:

- [別の製品にリンク]: BLC
- オーディオシステム: オプション2

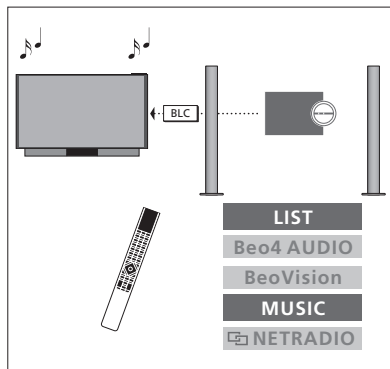
別の製品で再生されているソースを加えるには、BeoRemote OneのLIST ボタンを押して、[参加] を反転表示させ、視聴するソースが聞こえるまでセンター ボタンを繰り返し押します。

オーディオ/映像システムを使用する

オーディオシステムとテレビを統合した場合、使用中のビデオまたはオーディオプログラムに適したスピーカーの組み合わせを選択できます。図を参照してください。



画面を切り替えずにオーディオシステムのスピーカーからテレビソースの音声を聞くには、オーディオシステムを選択している必要があります。選択されていない場合は、LIST を押してから、へを押し、BeoRemote One ディスプレイに使用中の製品を呼び出します。センターボタンを押してからへまたはvを押して、オーディオシステムの名前(Beo4 AUDIOなど)を反転表示し、センターボタンを押します。オーディオシステムを選択したら、TV、へまたはvの順に押してYOUTUBE など希望のソースを反転表示し、センターボタンを押します。



テレビに接続したスピーカーでオーディオ音声を聞くには、テレビを選択している必要があります。選択されていない場合は、LIST を押してから、へを押し、BeoRemote One ディスプレイに使用中の製品を呼び出します。センターボタンを押してからへまたはvを押して、BEOVISION などテレビの名前を反転表示し、センターボタンを押します。テレビを選択したら、MUSIC を押してから、へまたはvを押して、NETRADIO など「リンク」記号が付いた希望のソースを反転表示し、センターボタンを押します。

2台のテレビ – Network Link 接続

Network Link 付きの製品はお互いに音源を借用することができます。お使いのテレビに互換性のあるBang & Olufsen テレビを接続すると、映像システムが統合されるため、他のテレビの音源と映像ソースの音を視聴できるメリットが得られます。

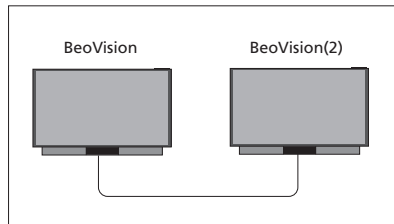
MasterLink 付きのテレビをお使いのテレビに接続する場合、Network Linkを活用するにはBeoLink Converter NL/ML (BLC)が必要です。

工場出荷時のBeoRemote Oneは、テレビ(BeoVision)との併用に限定した設定となっています。他のBang & Olufsen 製品にBeoRemote Oneを使われる場合は、セットアップで必要な設定を行ってください。お使いのリモコン用ガイドをご覧ください。

Bang & Olufsen 製テレビの中には、お手持ちのテレビとの統合に対応していないものもあります。

コンテンツプロバイダーによっては、音声の配信を遮断する場合があります。

Network Link 接続付きの2台のテレビ



テレビの正面で操作してください：

- [別の製品にリンク]：BeoVision や BeoVision(2)などのほかの各テレビ

BeoRemote One を使用して製品に特定のオプションを設定するには...

リモコンをオプション設定をした製品の赤外線受信器に向けます。リモコンと赤外線受信器の距離は0.5メートル以内になるようにしてください。

押して[設定]をBeoRemote Oneのディスプレイに呼び出します。



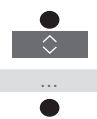
押して[追加設定]を呼び出します。



ボタンを押して[製品オプション]を呼び出します



製品を[赤外線有効]にするか、[赤外線無効]にするかを選択します。*



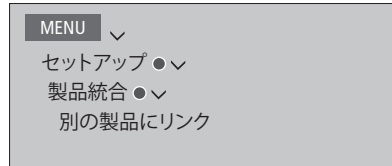
[BeoVision]など、有効な製品を選択します。



お使いの製品用の製品オプション*2を選択します(BeoVision(2)など)



[送信]を選択し、センターボタンを押して選択したオプションを保存します。



テレビは[別の製品にリンク]メニューで一度選んでおく必要があります。[55ページをご覧ください。](#)

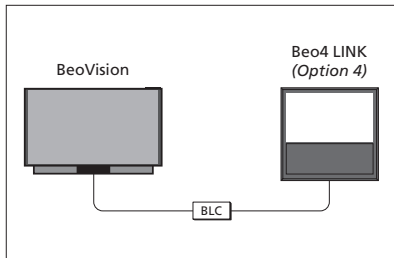
*1製品をBeoRemote Oneからのコマンドに反応させたい場合は[赤外線有効]を、製品をBeoRemote Oneからのコマンドに反応させたくない場合は[赤外線無効]を選択してください。

*2製品オプション(BeoVision(2)など)をBeoRemote Oneのディスプレイに表示するには、リストを押す前に使用する製品をBeoRemote Oneのリストに追加する必要があります。詳細については、BeoRemote Oneのガイドをご覧ください。

[Network Link テレビに戻る方法は56ページをご覧ください。](#)

次ページへ続く

Network Link 付きのテレビと Master Link 付きのテレビ



- Network Link テレビ:
 - [別の製品にリンク]: BLC
 Master Link テレビ:
 - オプション4

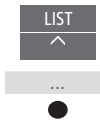
テレビで音源や映像ソースの音を視聴するには、[ソースリスト]を呼び出し、横に「リンク」記号 (🔗) が付いた他のテレビのリストから、希望するソースを選択します。リモコンディスプレイでリンクされたソースを見る方法は、BeoRemote Oneのガイドをご覧ください。

別の製品で再生されているソースを加えるには、BeoRemote OneのLIST ボタンを押して、[参加]を反転表示させ、視聴するソースが聞こえるまでセンターボタンを繰り返し押します。

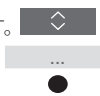
MasterLink テレビのオプション設定を行なうには...

リモコンを MasterLink テレビの赤外線受信機に向けます。リモコンと赤外線受信器の距離は0.5メートル以内になるようにしてください。

押して **BeoVision** など使用中の製品を BeoRemote One リストに呼び出します



MasterLink テレビを選択します。初期設定では **Beo4 LINK *** が選択されています。



押して [設定] を呼び出します



押して [追加設定] を呼び出します。



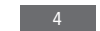
ボタンを押して [製品オプション] を呼び出します



押して [L.OPT.] を呼び出します



4 を押します



*製品オプション (Beo4 LINK など) を BeoRemote One のディスプレイに表示するには、LIST を押す前に使用する製品を BeoRemote One の LIST に追加する必要があります。詳細については、BeoRemote One のガイドをご覧ください。

[Network Link テレビに戻る方法は56ページをご覧ください。](#)

1つのリモコンで2台のテレビを操作する

Bang & Olufsen テレビを2台お持ちで、両方のテレビでリモコンからのコマンドを受信可能な場合、LISTで2台のテレビを切り替える必要があります。

片方のテレビにMaster Linkが装備されている場合は、BeoLink Converter NL/ML 経由で接続する必要があります。[54ページをご覧ください。](#)

1台のリモコンで2台のテレビを操作

テレビを正しく動作させるためには、製品に対してテレビを設定する必要があります。リモコンのガイドもご覧ください。

BeoRemote One – 2台のテレビを切り替えるには…

通常は、リモコンでTVまたは MUSIC を押して関連のあるソースを探して、TVなどのソースを有効にできます。ただし、2台のテレビをお持ちの場合は、1台のテレビを選択しないと、ソースを操作できません。

押して **BeoVision** など使用中の製品を BeoRemote One リストに呼び出します



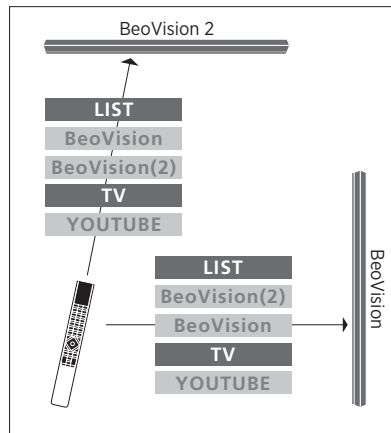
Network Link テレビ用には **BeoVision(2)**、Master Link テレビ用には **Beo4 LINK** など、希望の製品を選択します。



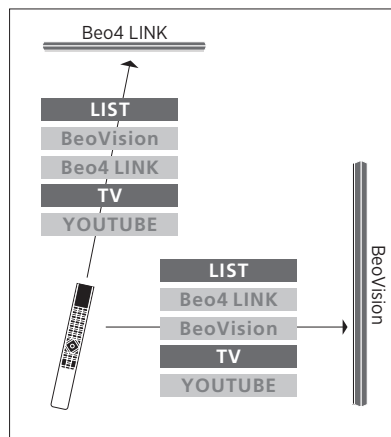
押して TV などのソースを選択します。



BeoRemote One ディスプレイで製品の名前を変更することもできます。リモコンのガイドをご覧ください。製品の選択についての詳細は、販売店にお問い合わせください。



Network Link 付きのテレビをもう1台のテレビに切り替える場合のリモコン操作例



Network Link 付きのテレビと Master Link 付きのテレビを切り替える場合のリモコン操作例

HDMIマトリックス

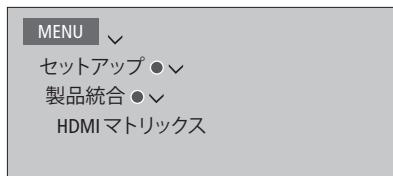
HDMIマトリックスは、最大32個の外部ソースを異なる部屋にある最大32台のテレビに接続し、各テレビから個別に、またはBeoRemote Oneで複数の部屋から同時にソースにアクセスできるようにする物理的機器です。

HDMIマトリックスは、Bang & Olufsen 販売店で接続し、セットアップいたします。

1つのセットアップに複数のHDMIマトリックスを接続できます。

HDMIマトリックスメニューでの設定

HDMIマトリックスメニューで、HDMIマトリックスの設定を選択できます。



HDMIマトリックスを接続する

- > HDMIマトリックスメニューを開きます。
- > HDMIマトリックス接続済みを示す反転表示し、<または>を押して選択を開きます。
- > HDMI3端子を選択し、センターボタンを2回押します。
- > 接続しているHDMIソースのPUCテーブルをダウンロードします。画面に表示される指示に従ってください。
- > ダウンロードしたPUCテーブルを反転表示し、センターボタンを押します。
- > PUC端子を選択してセンターボタンを押して、HDMIマトリックスの設定を保存します。^{*1}
- > センターボタンを押して続けます。

^{*1}PUC端子は**センター**ボタンを押すと自動的に設定されます。ただし、コントロールタイプとモジュレーションモードを手動で設定したい場合は、**赤**ボタンを押し、画面に表示される指示に従ってください。

HDMIマトリックスの設定が完了しました。赤ボタンをソースごとに押して、ソースリストメニューでHDMIマトリックスに接続したソースの設定を行う必要があります。他の接続機器の設定と同じ手順で設定できます。[外部機器の設定については、21ページをご覧ください。](#)

後でHDMIマトリックスフィールドをいいえに設定して、保存されたHDMIマトリックス設定を無効にしても、入力の設定は変更されずに保存されます。HDMIマトリックスを有効にすると、設定が再表示されます。

ソースの設定解除については、[22ページをご覧ください。](#)